

紫式部月抄

四篇

下

ヲ 津 9

422

8



津
門
編
卷
22
8

明治二十六年十月十三日
坪内柳屋氏寄贈

茶式 湖月抄四編卷下

東京
茶
式
湖
月
抄
四
編
卷
下

○圍カコ井の原モトも往古コノコト廣ヒロ坐敷ザシキの隅スミと屏風ビヤウブと以モて
 五イ疊テウ六ロク疊テウまゝシ四シ角カクもかまめくカマメク茶チャと点テンしと
 かりカガキ故コノ圍カコ井の名ナうナ後ノチ紹セウ鷗オウ利休リキウの兩居士レウコジ
 示シ談タンあり始ハジメる二ニ疊テウ敷シキと造タテらる鷗オウの山里ヤマサト
 休キウの妙喜院メウキイン等トウかりカガキと露ロ地点テシケヤ茶チャの最サイ初シヨ
 とくソノちチ後ノチ客席キヤクセキ狹クハ少セウかりと三サン疊テウ又マタ八ハチ天目テンメ

大正十一年四月編下

庵乃どぎきとつ此^{ロキ}庵不其^{タイス}あま^ハか^ミもず^ミ
 其^ロ正^ノのとき^ハの掛^ル物^ノの^ハも^トろ^ク大^キく珠^{クワ}光^ハは^ハれ^タル^シ
 柳^ノの^ハと^ハれ^テを^ハ編^ミて^ハ置^クる^ノは^ハた^ハの^ハお^ハり^シ也^キ
 一^ニつ^ク珠^{クワ}光^ガは^ハら^フの^ハ用^ニに^ハつ^テお^ハり^シと^ハ半^クも
 あり^キ一^ノ炉^ノの^ハ履^ニ使^ヒる^ノは^ハず^カる^ノは^ハ上^ノに^ハ置^ク
 け^レたり^シ後^ノ利^ニ体^トと^ハあ^ハり^シ候^ハう^レ候^ハも^ハあ^ハり^シ
 向^テ炉^ノを^ハ切^リて^ハ其^ノ子^ノノ^ハカ^ネと^ハあ^ハり^シとき^ハ又^ハ四^ノす^ノ
 候^ハと^ハろ^クあ^ハり^シ後^ノ西^ノに^ハあ^ハり^シ也^キも^ハあ^ハり^シ候^ハ
 候^ハと^ハろ^クあ^ハり^シ候^ハも^ハあ^ハり^シ候^ハも^ハあ^ハり^シ候^ハも^ハあ^ハり^シ候^ハ

○炉^ノの^ハ子^ノ法^ハ古^クより^ハあ^ハり^シ候^ハも^ハあ^ハり^シ候^ハも^ハあ^ハり^シ候^ハも^ハあ^ハり^シ候^ハ
 一^ノす^ノ法^ハか^レば^ハ甲^ノを^ハ入^レる^ノは^ハた^ハの^ハあ^ハり^シ候^ハも^ハあ^ハり^シ候^ハ
 甲^ノ炉^ノの^ハ子^ノ法^ハを^ハす^ノは^ハた^ハの^ハあ^ハり^シ候^ハも^ハあ^ハり^シ候^ハ

○深^ク之^ノ置^ル二^ノ様

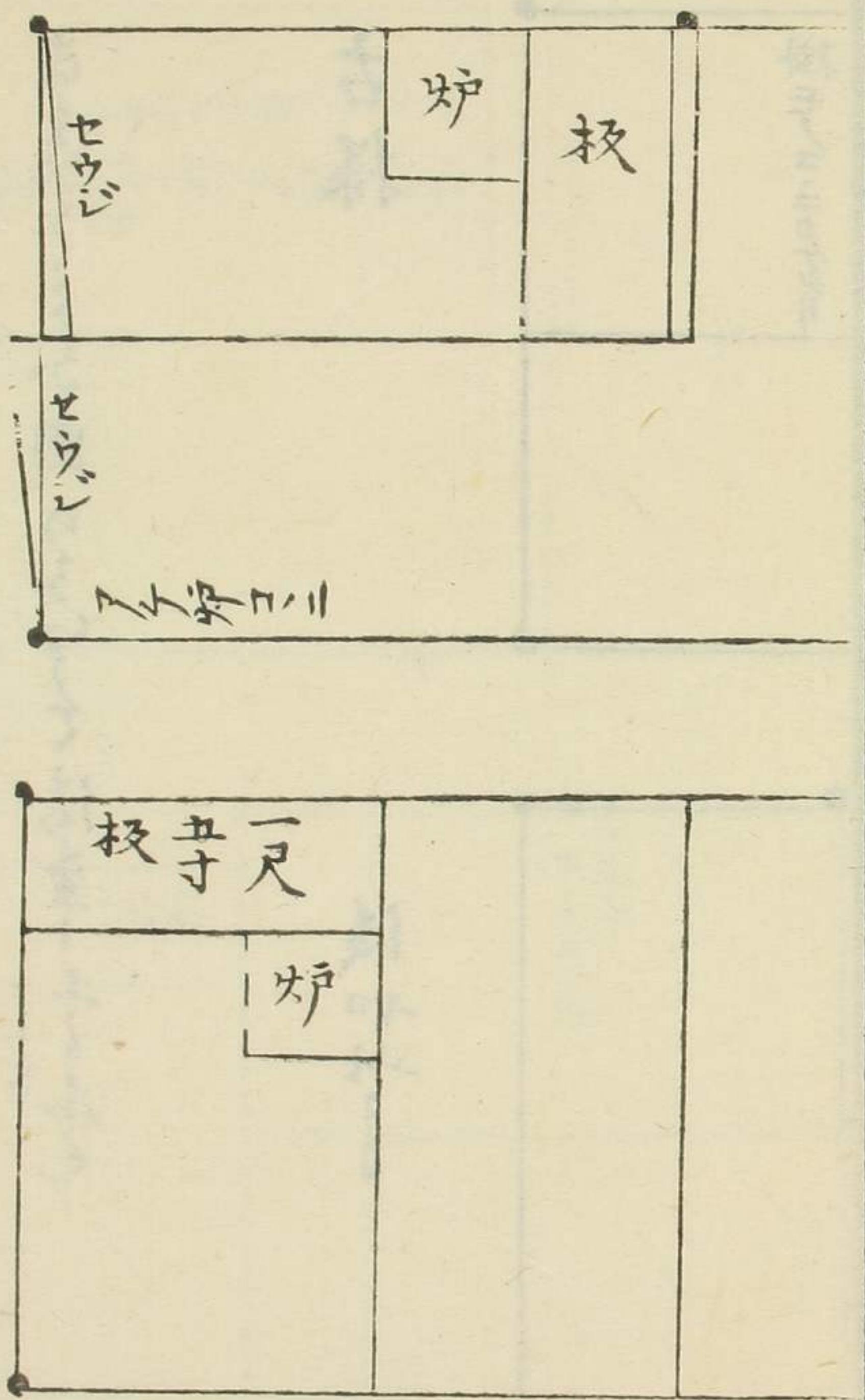
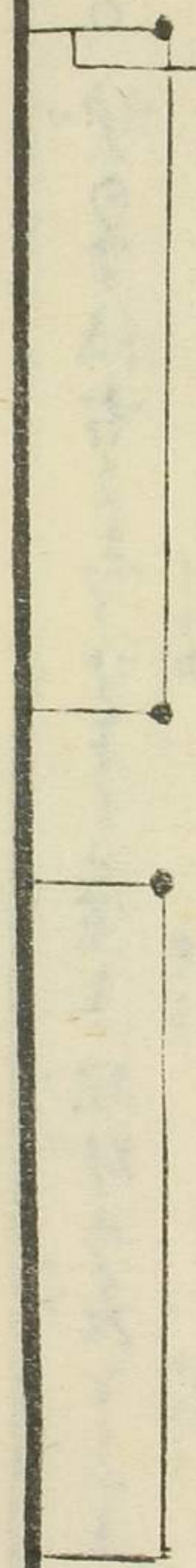
右^ノ法^ハ乃^ハあ^ハつ^テい^ハなり^シ番^ノに^ハ置^クる^ノは^ハた^ハの^ハあ^ハり^シ候^ハも^ハあ^ハり^シ候^ハ
 一^ノつ^テ甲^ノ炉^ノの^ハ子^ノ法^ハを^ハす^ノは^ハた^ハの^ハあ^ハり^シ候^ハも^ハあ^ハり^シ候^ハ
 乃^ハち^ハ枚^ノの^ハあ^ハつ^テい^ハなり^シ番^ノに^ハ置^クる^ノは^ハた^ハの^ハあ^ハり^シ候^ハも^ハあ^ハり^シ候^ハ
 休^ムる^ノは^ハた^ハの^ハあ^ハり^シ候^ハも^ハあ^ハり^シ候^ハ

古様之局

後左

初ニ板ノ上ノ臺子ノゴトクカネノ風炉水サレ
ナド具ニテ置レナリ

此カケモノ
此戸ベ中段カウシアリ中段ニテニシテ柱
板ノ尻炉サキモアリ高サ金ノ三ヘガタシ

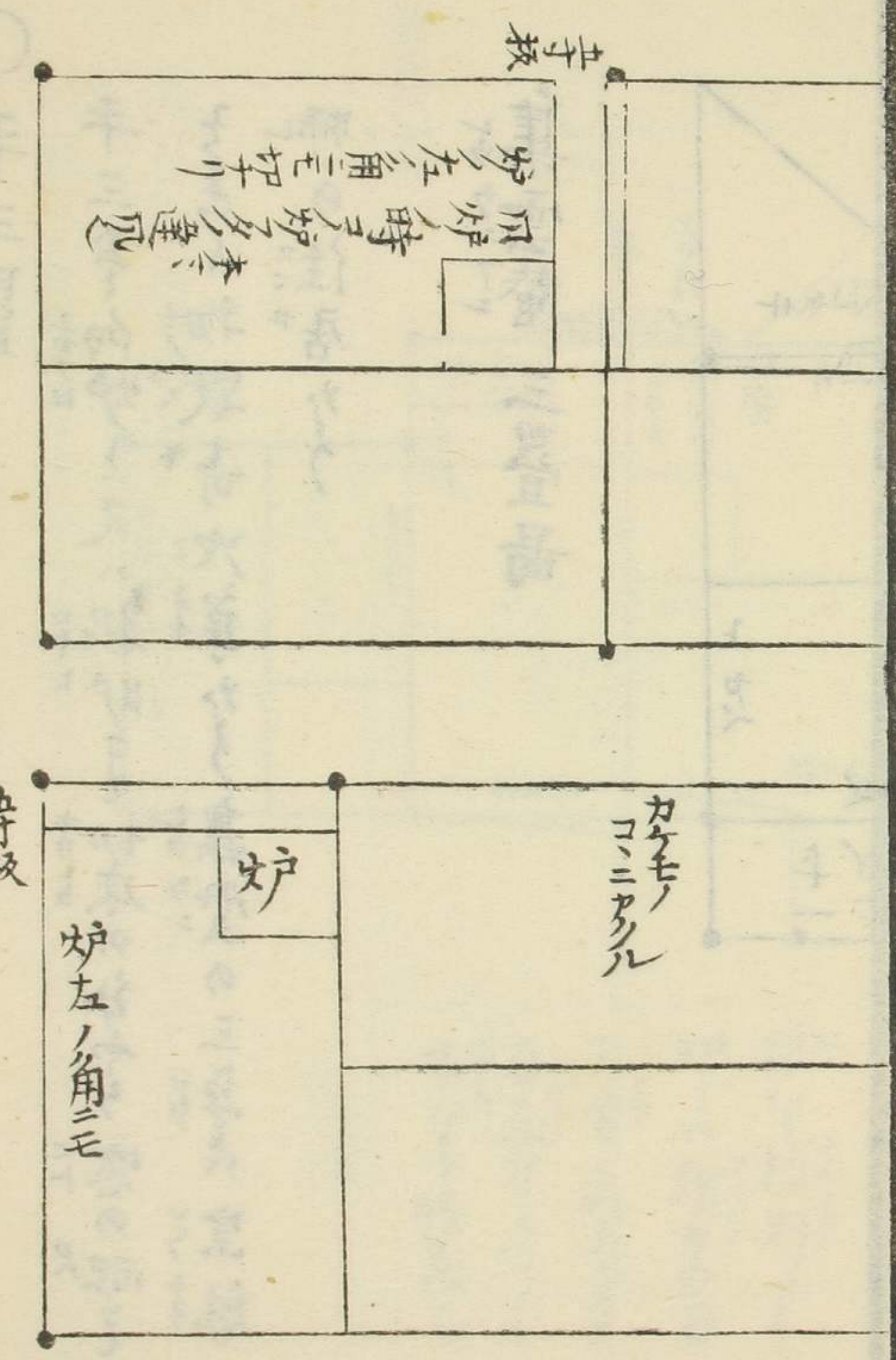
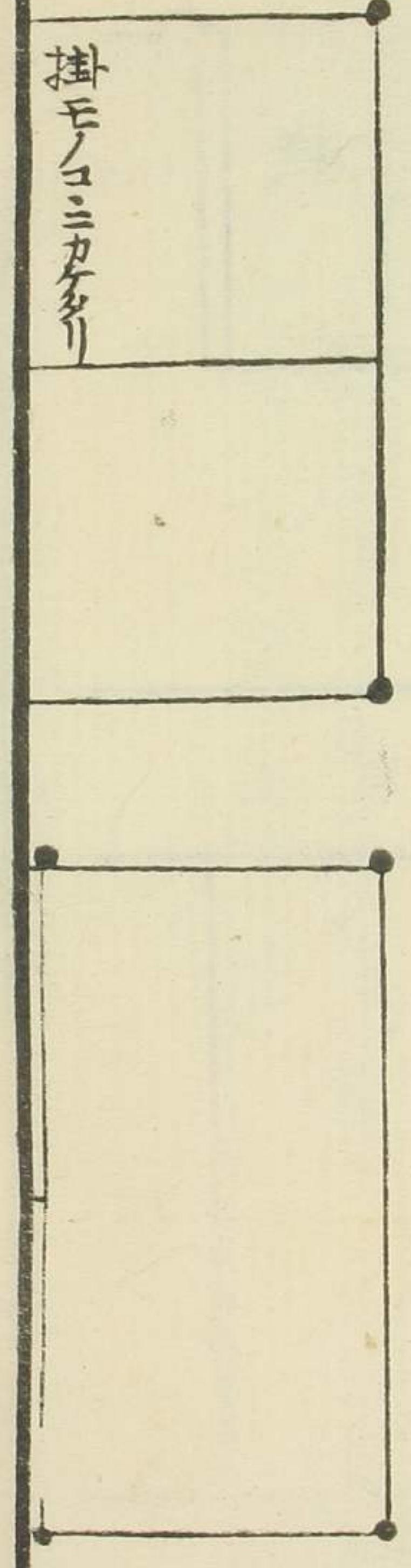


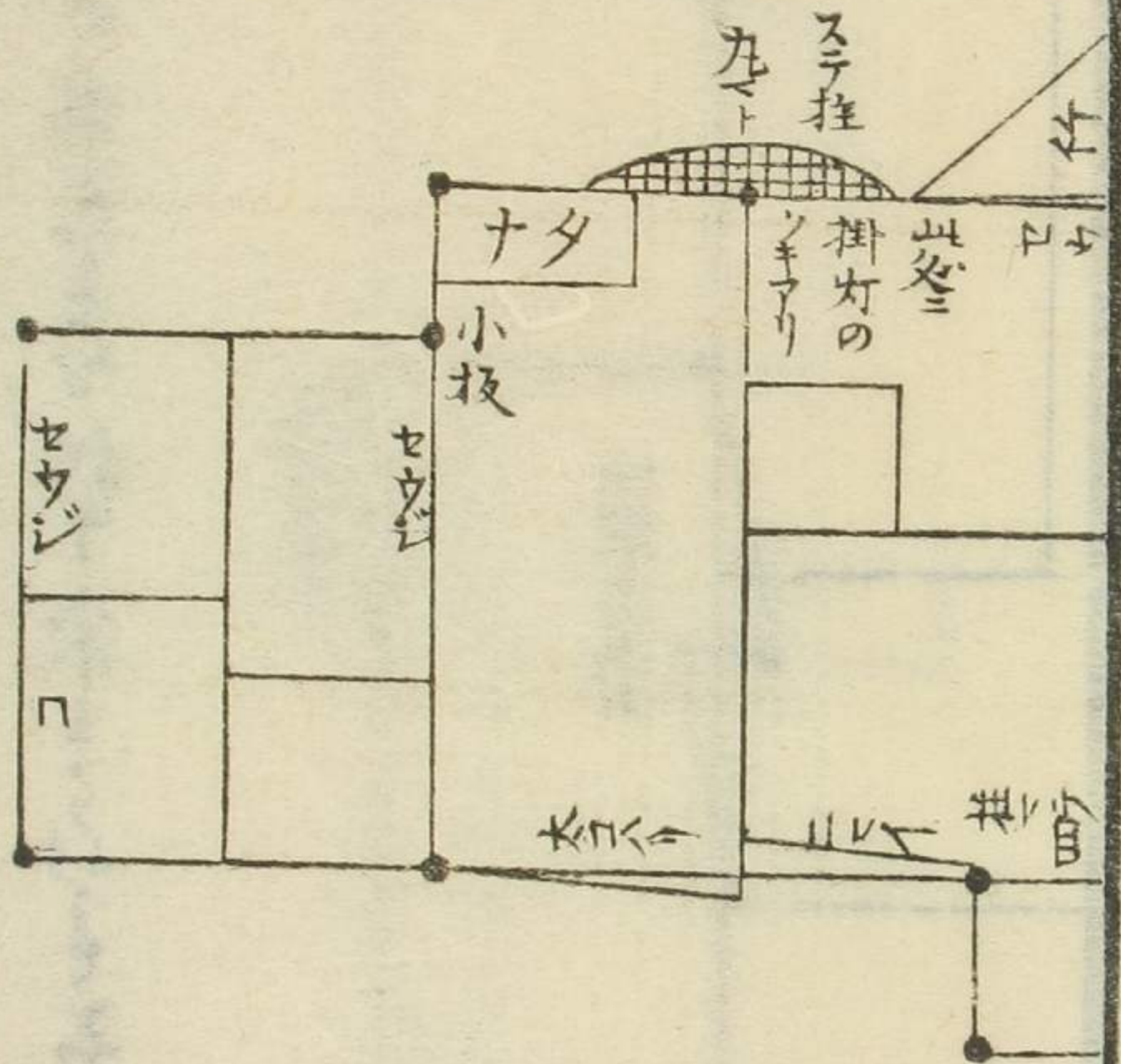
○長四畳 三様

長四畳の源に於ては、そのまゝのまゝなり。昔の、
さきかゝる、
フジユウ
法華よりなり。

古様

後如世



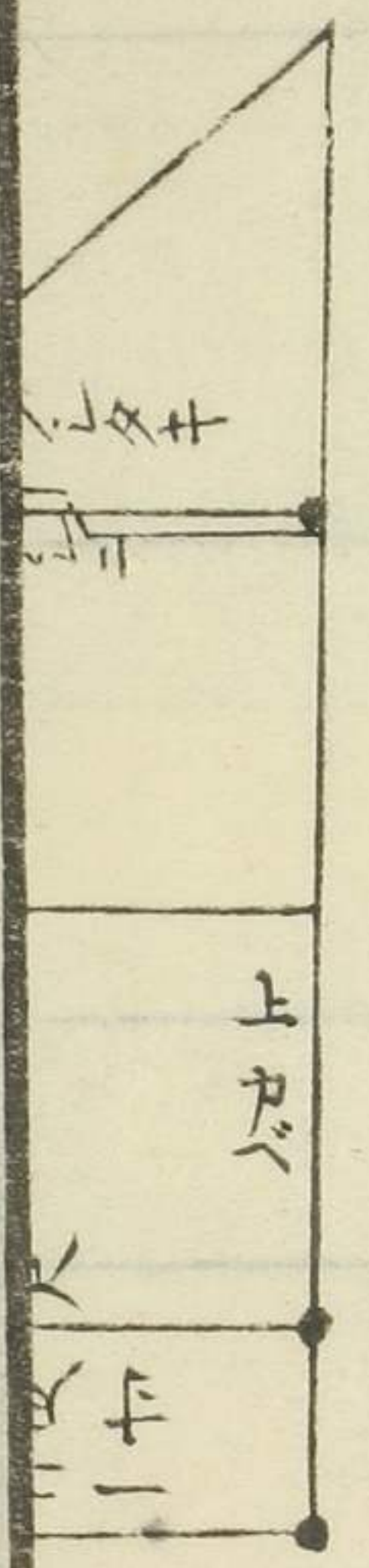


炉と持出
 切ハ持出の力
 自在なつて
 老なる候所へ

○ 平三畳直 附 集雲菴三畳直
 平三畳直

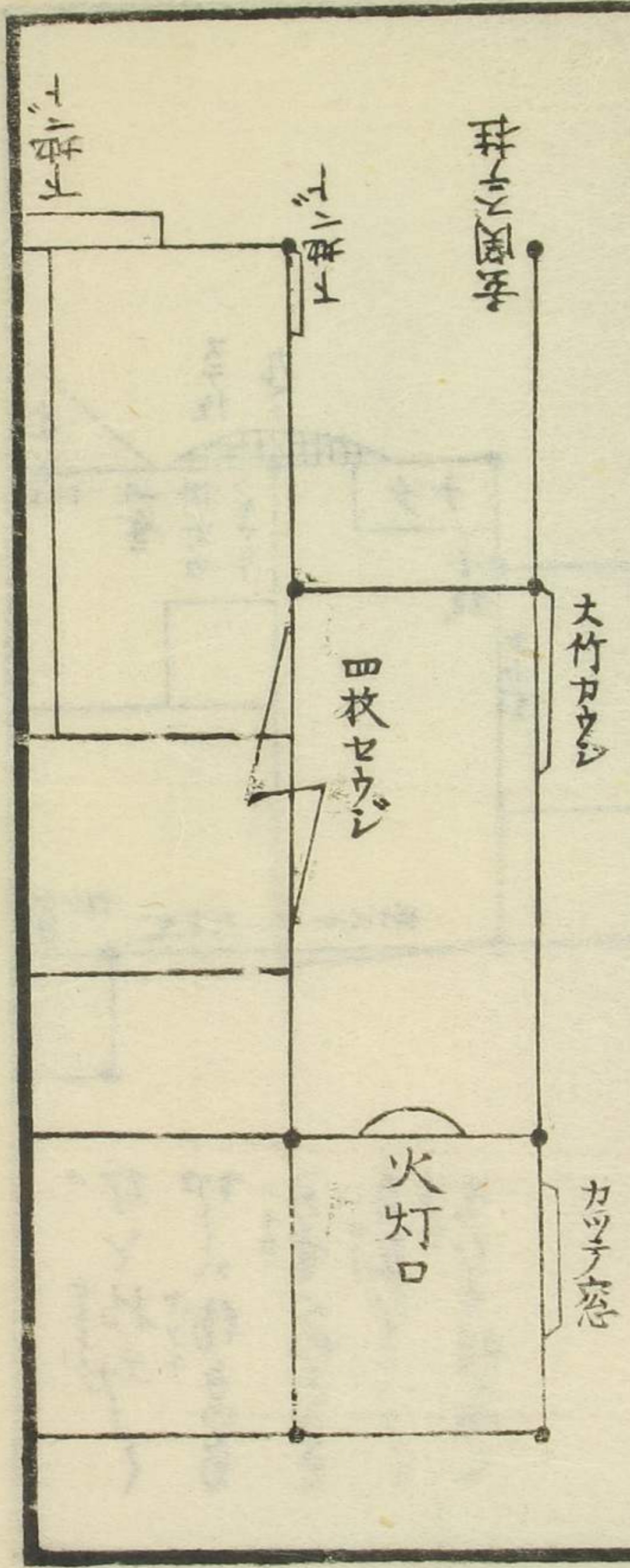
平三畳直向炉と又ハ扱炉も切床の分り窓の配
 ともく物敷奇次身なり集雲の三畳直宗啓
 師の住居なり

集雲菴 三畳直



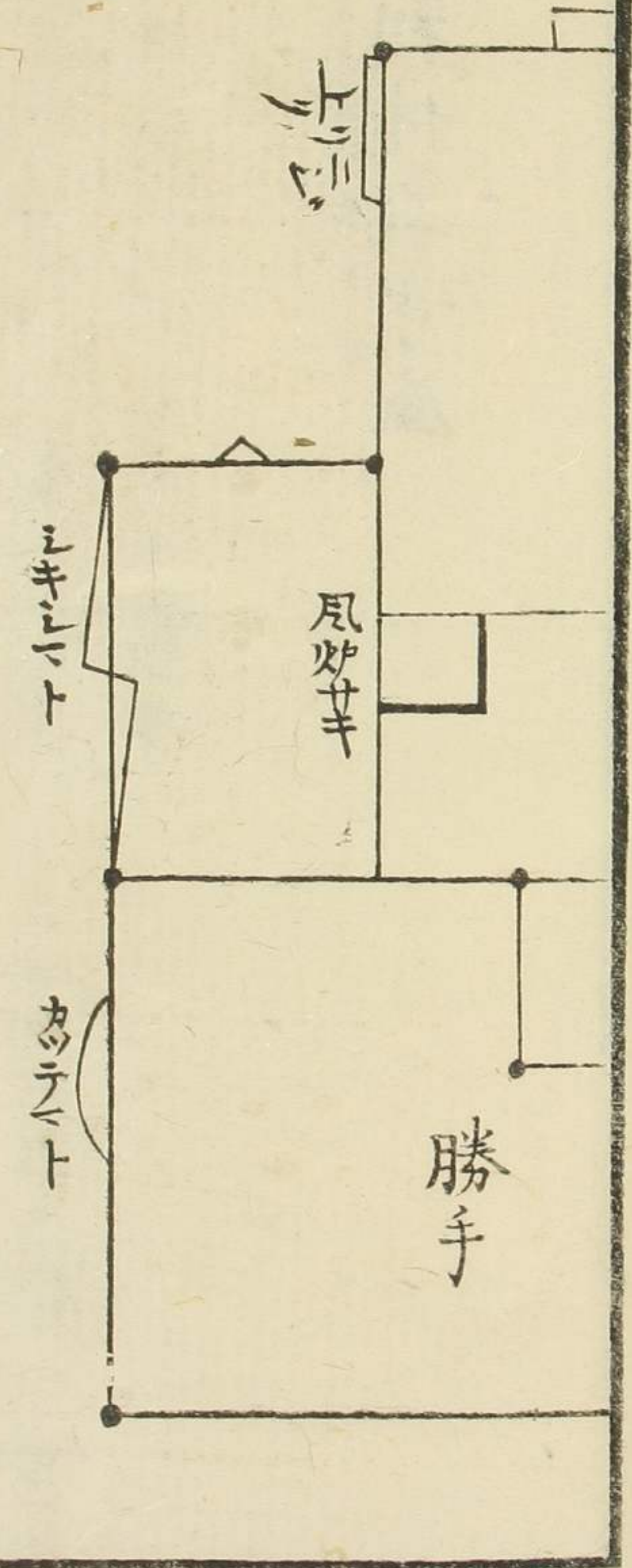
○ニ階宜其室目 三階宜其室目

二階宜三階宜まゝの四階宜半々と大目と作る三階大目の高とまゝを記す余もろゝをあらへ



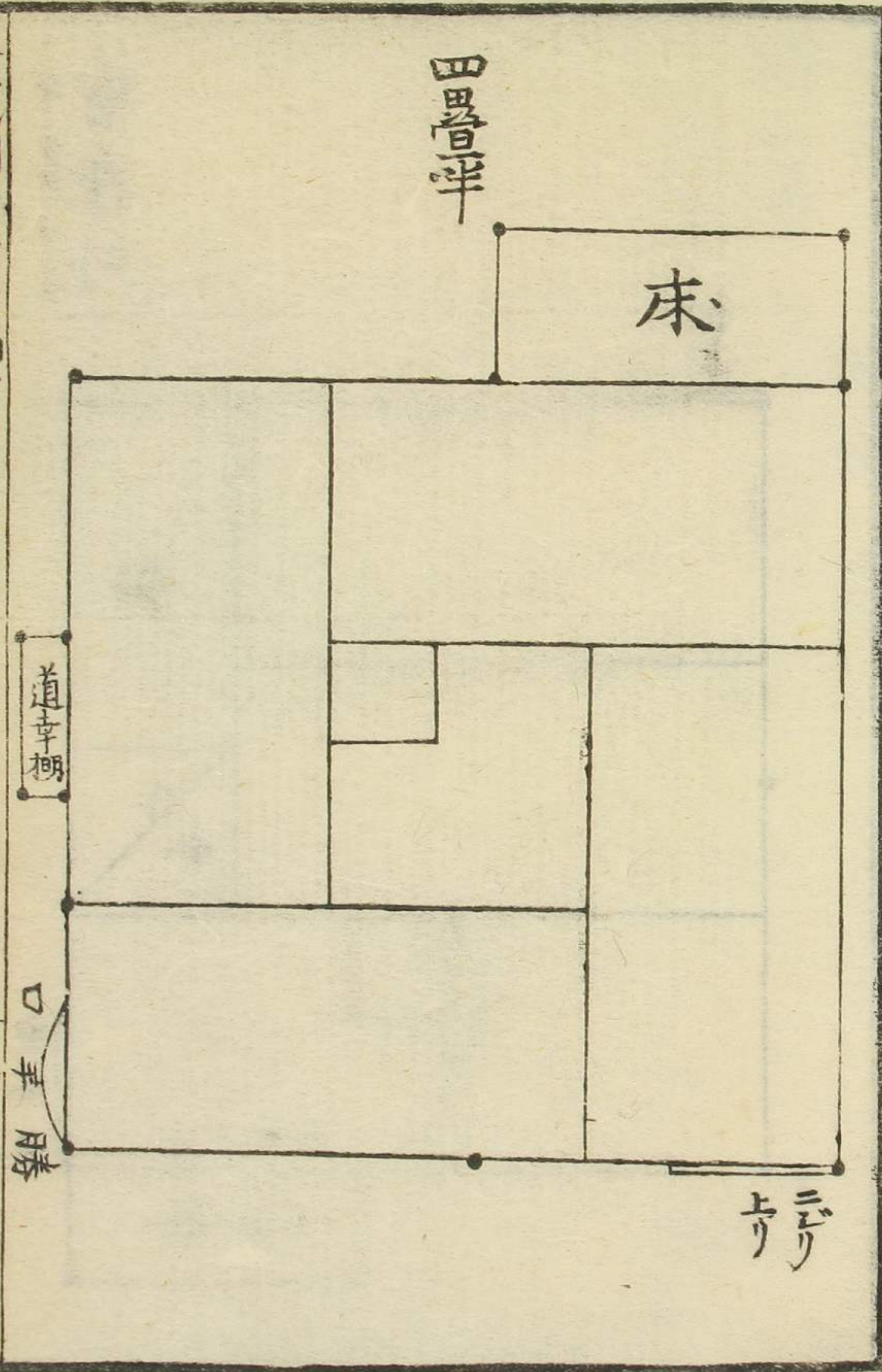
○臺目之事

中柱の右小炉をなすを其室目切とす六尺三寸の
 及びの内皇子の中一尺四寸と皇子さまの屏風乃



茶式朝月抄四編下

茶式胡月抄四編下



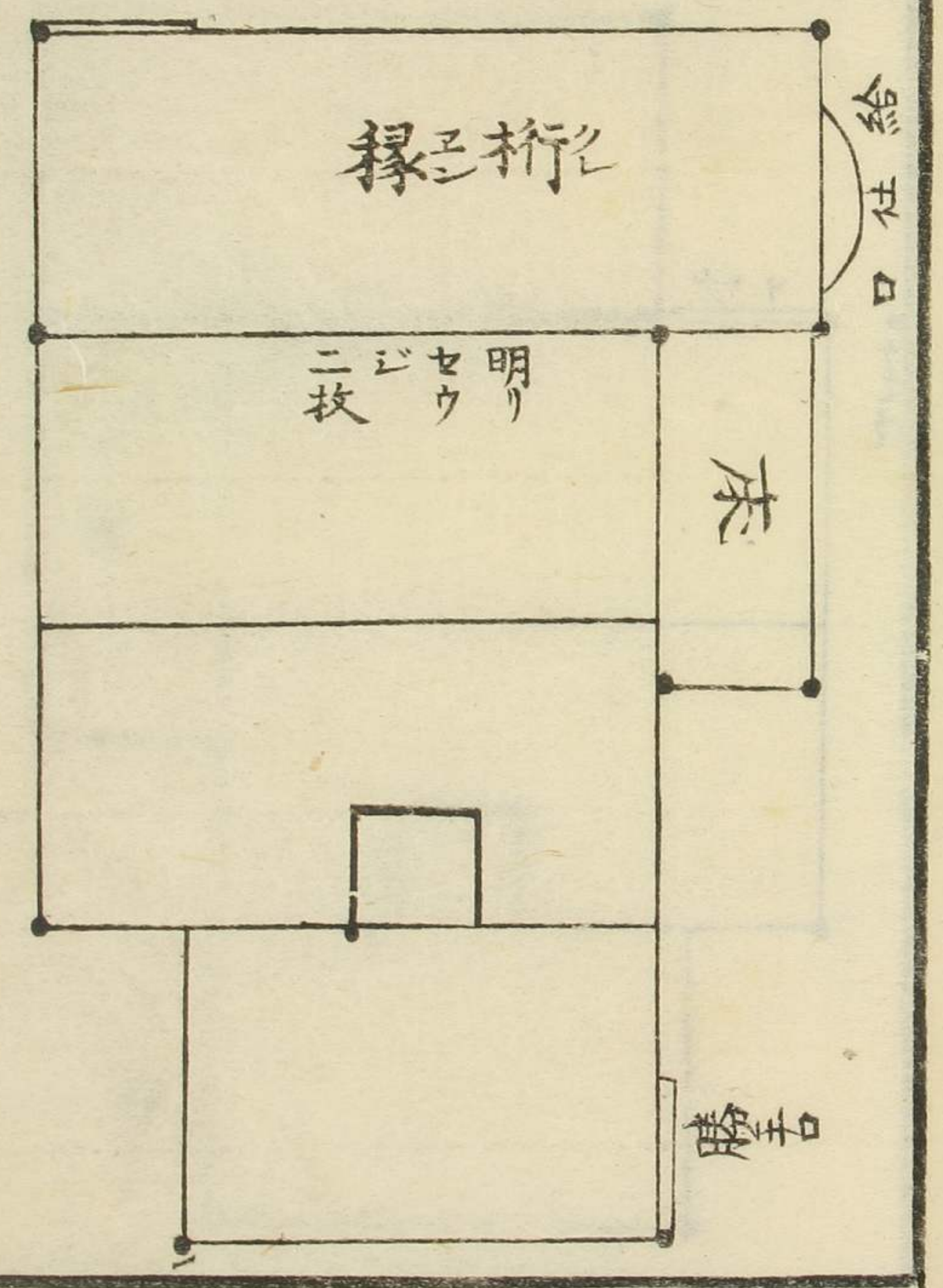
利休敷奇屋

石子と一寸くさとのけ則を二尺四寸のたぐえ来一尺
 四寸の風炉の壁を客窓をくさとを炉を切らう一枚を
 の内其壁子の置目ふ切のけらうの急壁目切の急
 壁目切の急とらうなり柱ふりの大目切もあり
 自由な柱あり本式なりつぎも五陽六陰
 のカネどのら口傳アリ

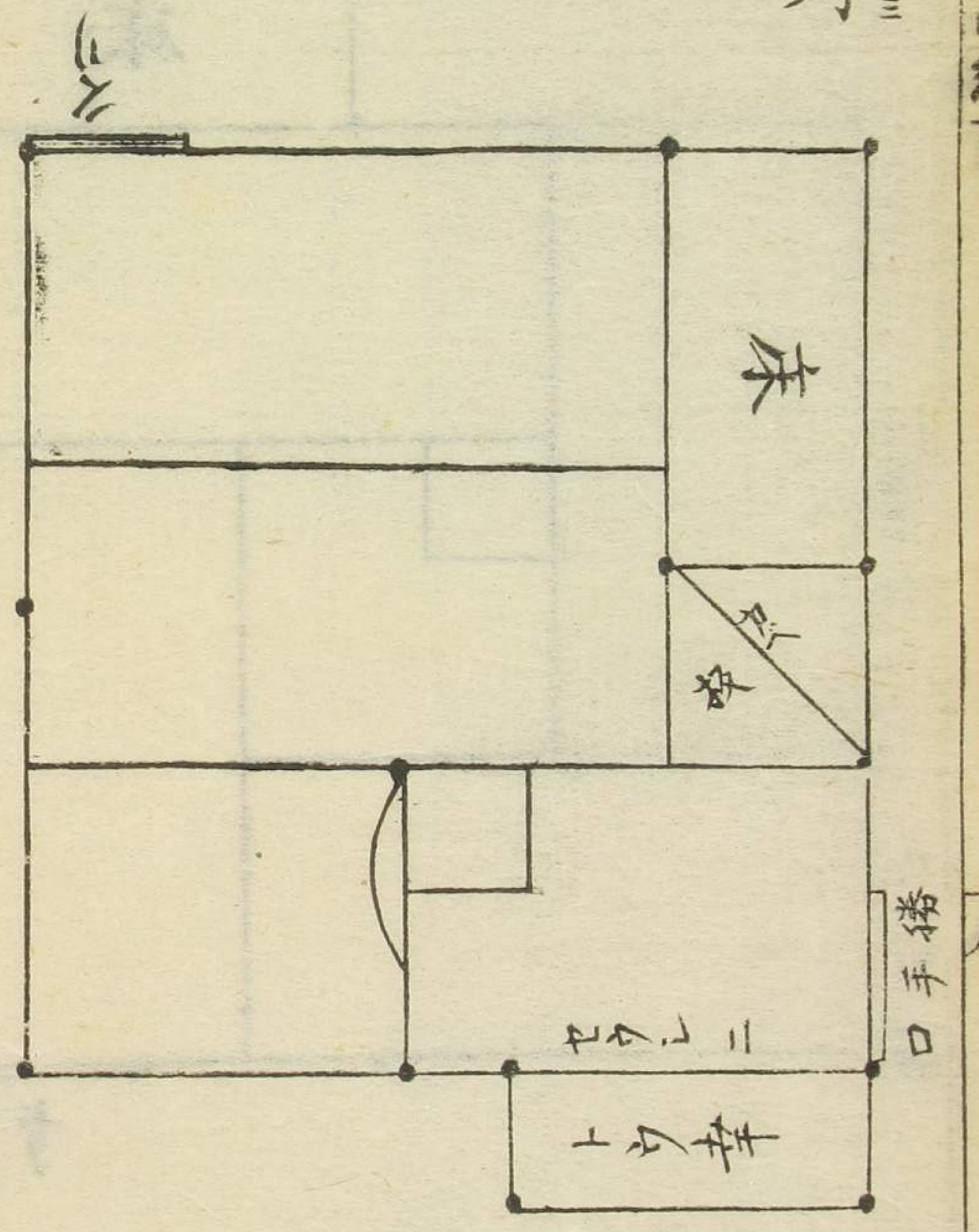
茶式胡月抄四編下

大目朝月少田下

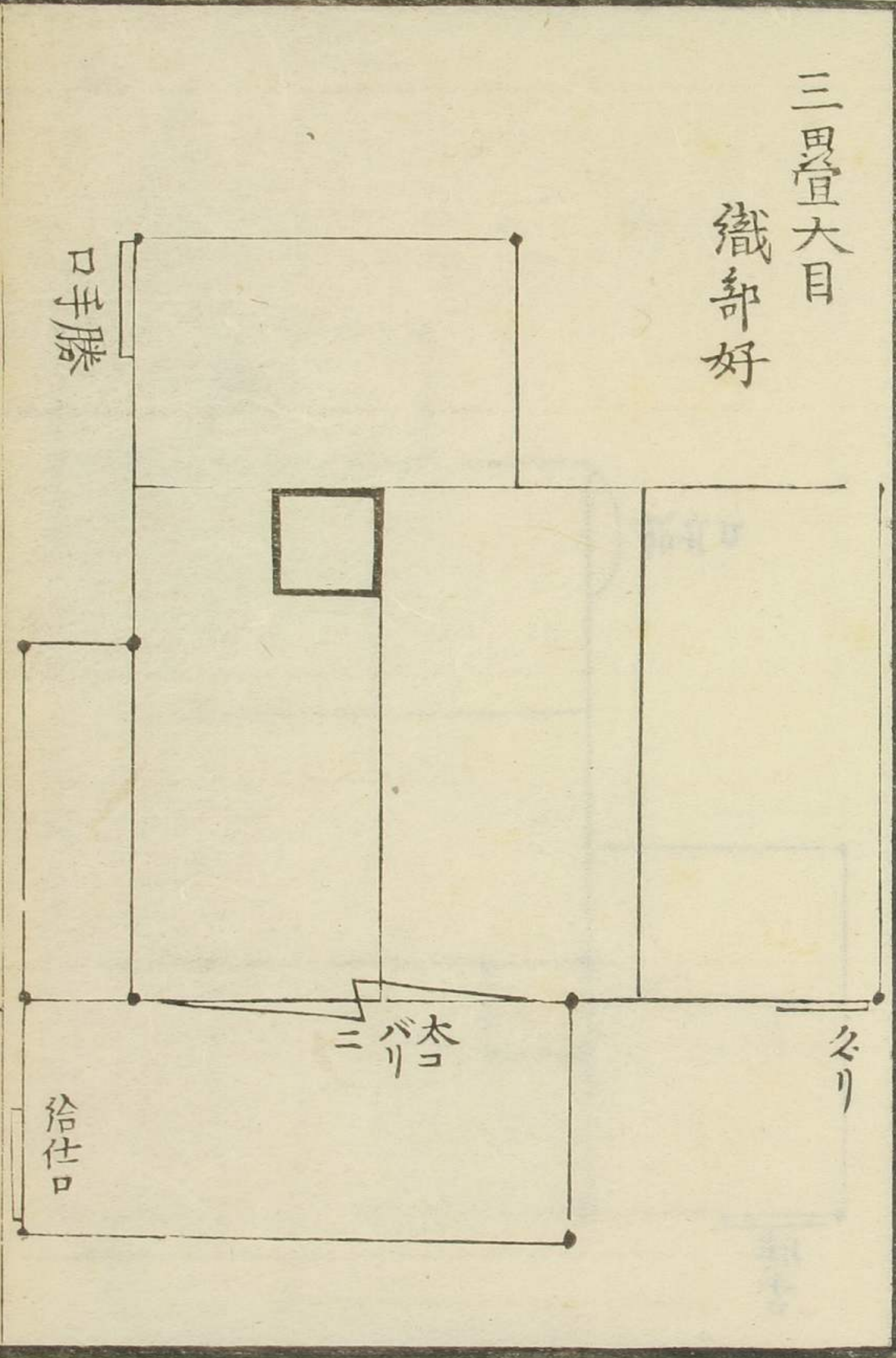
同二畳
大目



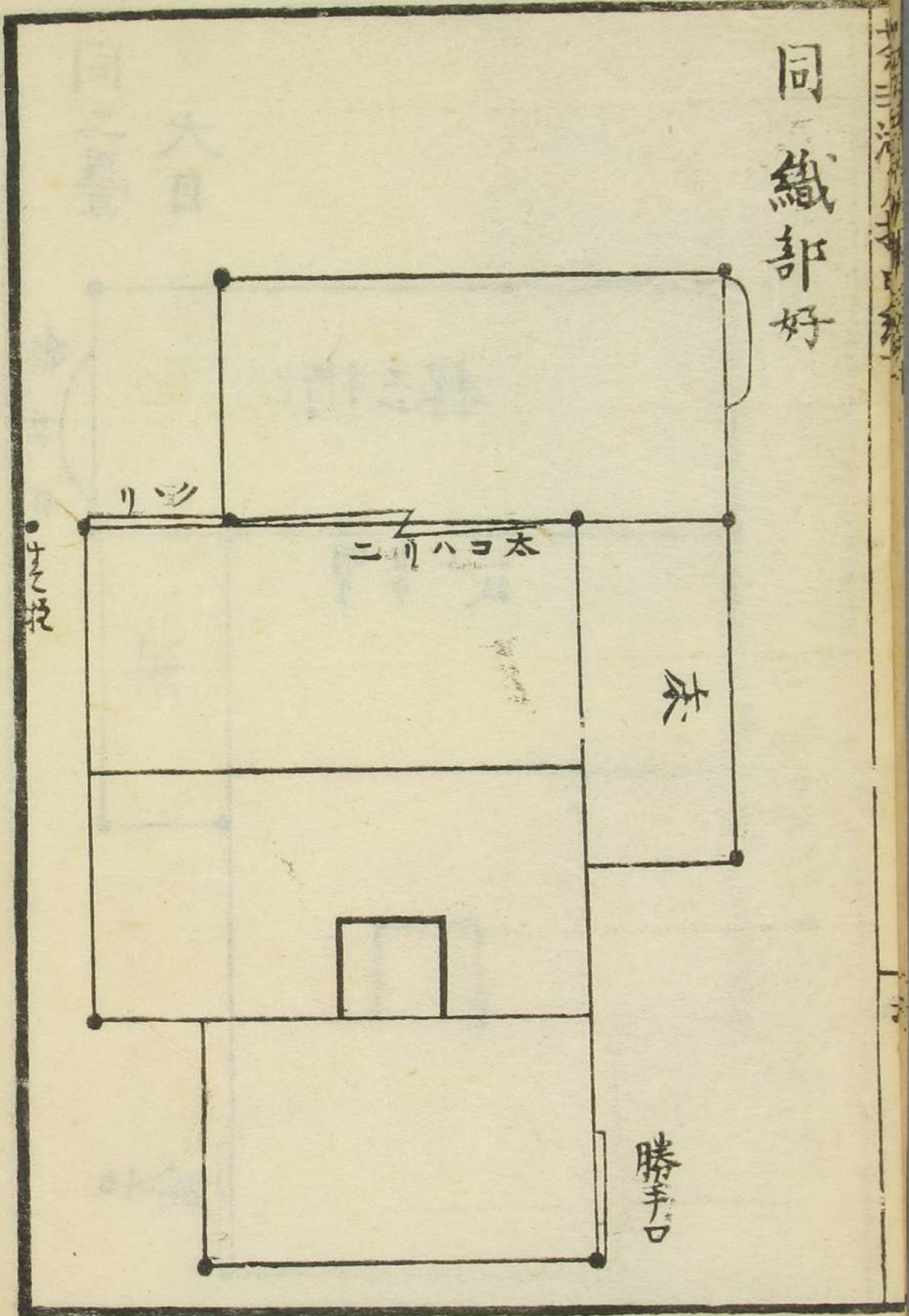
ウラクヨノミ
有樂好



大目三畳



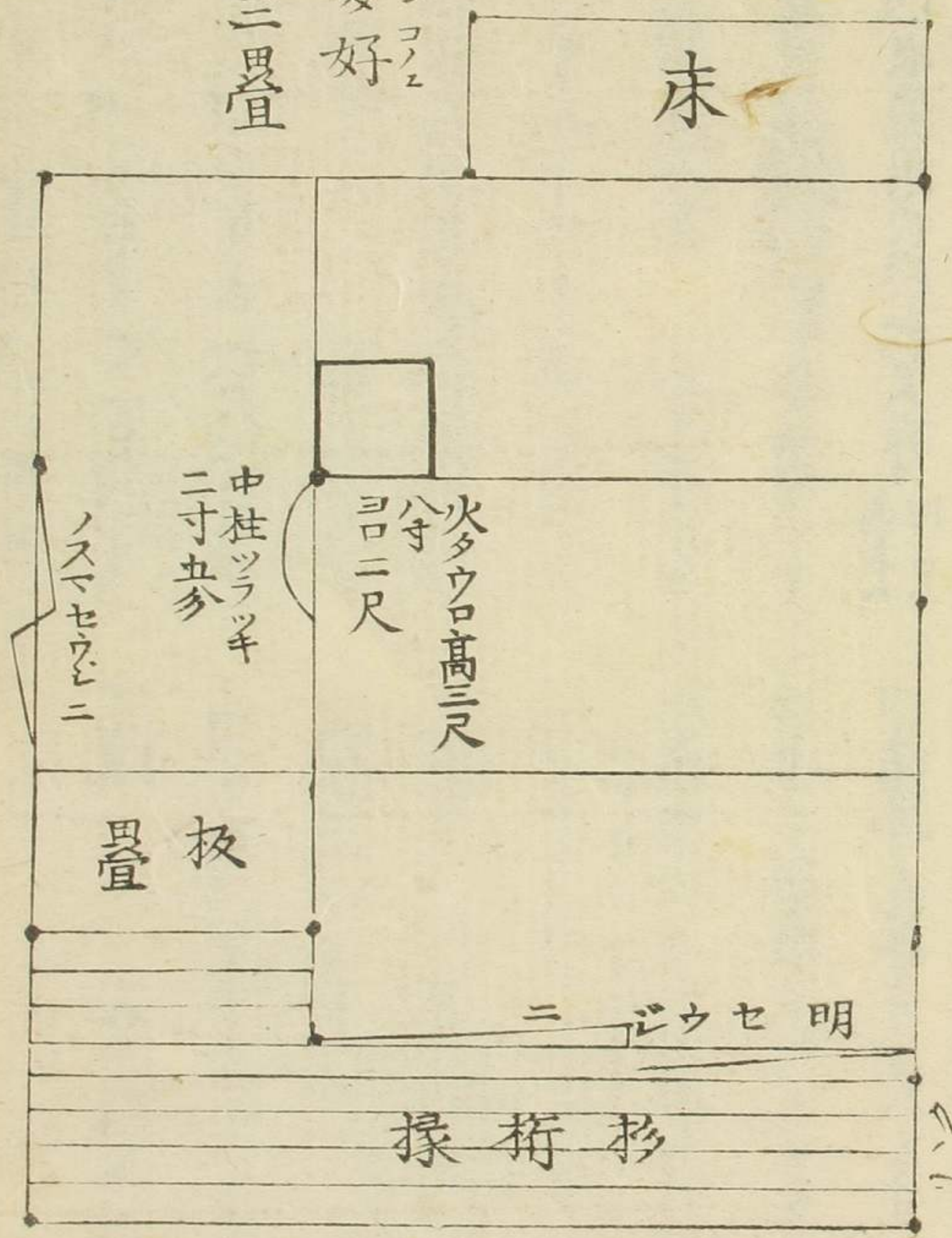
同織部好



茶式胡月少口偏下

道安好
平三畳

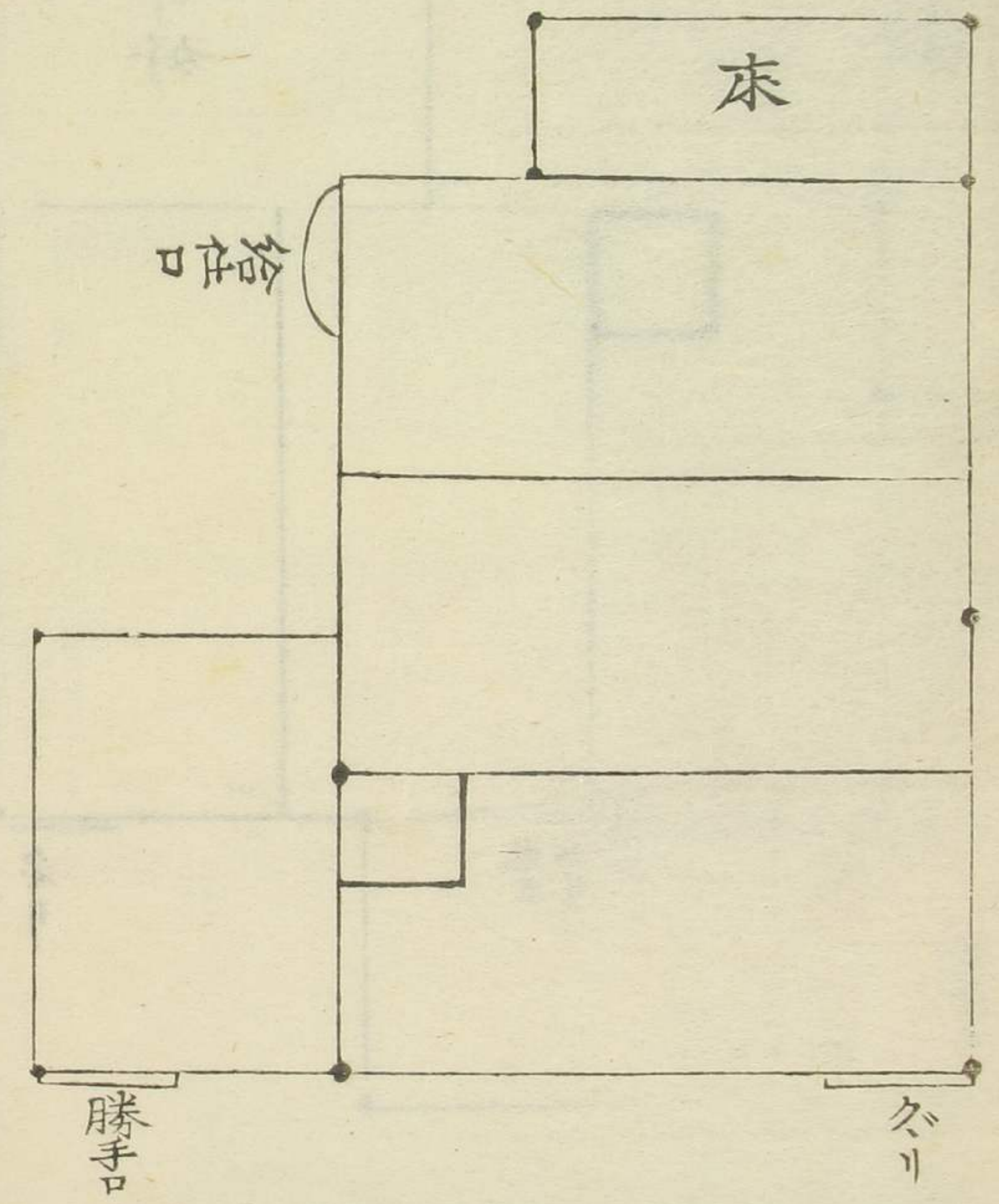
床



茶式胡月少口偏下

同
利休好

床



○利休敷奇屋四帖半尺寸

柱の根より柱まで一尺二寸 七尺

天井板よりことと六尺一寸半 六尺一寸半

門四寸 二尺一寸半 振舞内は五尺四寸

門板内は五尺二寸九寸五分 傷の内は五尺四寸

門板の裏に五尺一寸五分 軒より上へ板は五尺一寸五分

戸板の内は五尺一寸五分 他は板は八尺一寸五分

床の内は五尺一寸五分 門の裏に五尺一寸五分

門板の裏に五尺一寸五分 門の裏に五尺一寸五分

門の裏に五尺一寸五分 門の裏に五尺一寸五分

門の裏に五尺一寸五分 門の裏に五尺一寸五分

門の裏に五尺一寸五分 門の裏に五尺一寸五分

門の裏に五尺一寸五分

門の裏に五尺一寸五分

門の裏に五尺一寸五分

門の裏に五尺一寸五分

門の裏に五尺一寸五分

門の裏に五尺一寸五分

日長さ 一尺六寸

日長さ 一尺六寸

日とくき巾 八寸半

床よりさすササササ

日巾 一尺五寸半

あの上り戸の腰板さすササ

天井ふらの板九寸

たさるまき 一尺七寸

追か 口付さ

○隣上 踏上 躰上

別休一尺六寸のサウアンと造らさく竹の好なり
その口付さすまもけり

鴨居日法 臥尺六寸 横 臥尺三寸六寸

方立の中 一尺五寸と七寸半

鴨居巾 二尺五寸と七寸半

戸框九寸半と六寸半 板のさすササ

釘の板を板七ツサ

○踏ぬき

板揚まこの竹を敷きこみさす
りふたさすササ

○中楹

柳よりイカネをたぐく

○窓カミ 附 塗残 名あり

田カミくきりくきり多ありは炉フロまき漆シとくし
利休のぬきと田舎イナカも漆シとくしとくし
小月コヅキくきりくきり又和泉河内の辺イヅミカチのまきヨシは
のまきヨシくきりくきり漆シをりしとくし
扇の下地カミラくきりくきり漆シのまきヨシは
連子レンジまきもあり甚同窓のくきりたぐく地チまきシは
つきくまツキタ出デくきりくきり漆シのまきヨシは右織のぬき

於玉集

大僧正慈圓

あつくくきりくきり漆シのまきヨシは
あつくくきりくきりの塗シ波ナミなぐく

○風炉先窓寸法

くきり 一尺八寸九ア 巾一尺五寸九ア
急イソおき地チまきシは三尺七寸五分ハサビ
傳デン子コ骨ハネ櫃クハは寸サツ四ハ
甲カウ名ナ地チまきシは寸サツ八ハ
傳デン子コ骨ハネ櫃クハは寸サツ九ク

之を俵子す方の見え 壁は半 横は半 他は半

○ 皇目眼窓

之を地敷ヨリ 土を八寸又五分 壁と見内と切

之の言サ 壁八寸 凡がおの角の板より九寸五分

少ゆちと九押在のまゝ 鴨居申 壁を繋ぎ 石を

お右外寸五分 石を 障子壁連子竹のまゝ 板を

横もま子の横板を 土を五分 障子も横中のまゝ 入

○ 色紙窓

之を 土を八寸 鴨居申 壁を繋ぎ 石を

之を 土を八寸 鴨居申 壁を繋ぎ 石を

九寸五分 壁を繋ぎ 土を五分 鴨居申 壁を繋ぎ 石を

土を五分 鴨居申 壁を繋ぎ 石を

○ 簾 附 かけのつゝ 土を五分

お壁に 土を五分 鴨居申 壁を繋ぎ 石を

腰を五分 鴨居申 壁を繋ぎ 石を

土を五分 鴨居申 壁を繋ぎ 石を

はやうあ

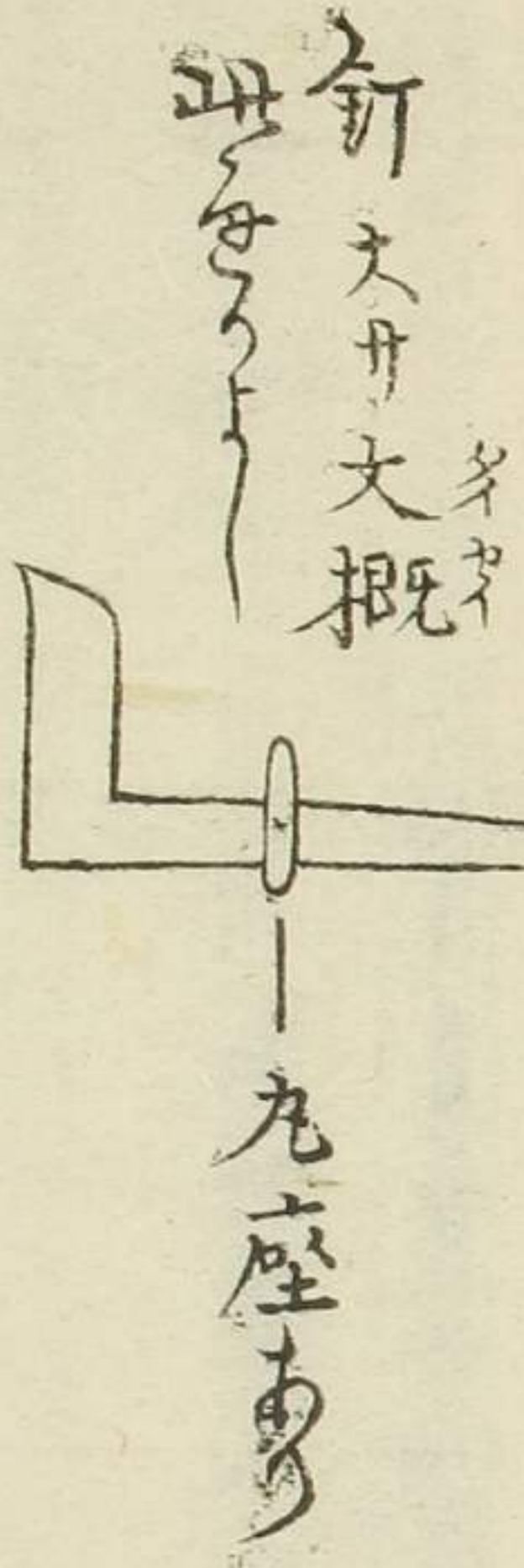
○ 掛物子の釘

天井のどう縁より一寸あつてくら釘ハ八九寸釘
 釘は目一文はさしとこと方まうく削る但角
 くらもあつは目より一寸あつてくら釘ハ八九寸釘
 ミツ掛の大横木の釘とくら釘ハ中のはめを
 したるたたいはめをとりてすくらハ幅木の釘
 はめをとりてすくらハ幅木の釘とくらハ幅木の釘
 ともつらぶとすくらハ幅木の釘とくらハ幅木の釘

○ 花入り舟の釘

地敷居より二尺を寸又ハ二三寸のりかきとす

と間ふよりと加輪なり釘の釘ハ口はあり
 一ツ物の掛物とす軸花入り舟の釘ハ口はあり
 小料等とす打るハ我秘は乃掛物ハ口はあり



○ 釣舟の小蛭

床の天井のま中より一寸あつてくら釘ハ八九寸釘
 釘は目一文はさしとこと方まうく削る但角
 くらもあつは目より一寸あつてくら釘ハ八九寸釘
 ミツ掛の大横木の釘とくら釘ハ中のはめを
 したるたたいはめをとりてすくらハ幅木の釘
 はめをとりてすくらハ幅木の釘とくらハ幅木の釘
 ともつらぶとすくらハ幅木の釘とくらハ幅木の釘

この危ヤウところもあつ利休のときタテマ田タテマ近タテマ屋タテマ 紹林セウリン
ハ落オシぐけの内ウチ乃ナ方カタノ釘クギ赤アカとつうツウ 宗ムネと無ム休ヒと
同ドウくク作サス板イタ床トコと釘クギ赤アカとを利リ休ヒなす

○ 袋フクロうけの釘

中ナカ楹ヒラの横ヨコ木キ乃ナ上ウヘ一ヒトつツあアのノ葉ハ入イのノ袋フクロうけウケとト三サン分ブン
一ヒト又マタのノやヤうウとト作サス一ヒトまマ余ヨのノ袋フクロうけウケのノつツハハ楹ヒラ
ナリ利休リキウをヲ竹タケ釘クギとト利リ休ヒのノ古コ織オリのノ後アトのノ折オリ釘クギと
たタこコのノ後アトのノ折オリ釘クギとト利リ休ヒのノ古コ織オリのノ後アトのノ折オリ釘クギと

○ 燈トモうけの釘

まマとト席セキふフよヨるルぐグ一ヒト座ザ目メのノつツらラをヲ料リウ算サンすス
陰インこコのノ一ヒトとト他タをヲ利リ休ヒのノ古コ織オリのノ後アトのノ折オリ釘クギと
つツらラをヲ利リ休ヒのノ古コ織オリのノ後アトのノ折オリ釘クギと

○ 柄ヒ扱サツうけの釘

わワとト座ザ目メのノつツらラをヲ利リ休ヒのノ古コ織オリのノ後アトのノ折オリ釘クギと
九ク寸サみミのノ折オリ釘クギと

○ 刀カチうけの釘

利休リキウのノ古コ織オリのノ後アトのノ折オリ釘クギと

道幸仕付

道幸ノ間鴨居
カクゴトシ

勝手ノ
方板ニテモ
又戸ニ奉
ニモ

コノ間九分

（ヘリ奉紙ニテ九分ニハル

火灯口

テ方テタ

同寸法杉

高一尺五寸五分

深一尺五寸

横廣二尺五寸

架板深八寸五分

百子四分半

架下引一尺上ニツ

一 乃幸言の四法 志人六寸又分

横々四法 志人寸 深り四法 一尺寸

柳巾 七寸 口長リ 志人寸

口々々々 又分 口分一 七寸又分

柳持え人寸 分 口々 口分

柳板厚 口分寸 天井柳の寸七分

障子紐子厚寸 分 口々 又分寸

口々々々厚寸 分 障子紐子厚寸

上ノ抄に置分 分 下ノ抄に置分

障子紐子厚寸 口横 口分

一 口 口々々々人八寸分

横巾 志人寸 深さ 志人寸

柳巾 九寸分 口横 志人寸

柳板厚 分 柳板厚分 口分

柳末 志人寸 柳口分 口分

口横 三分半 天井の柳板 八寸分

障子の厚さ 志人寸

一 口 口々々々 口分 志人九寸

横巾巾り 五尺二寸五分

桐板巾 九寸五分

巾 厚 四 分

桐板 三 分

障子 二寸五分

桐板 五尺七寸五分

一 日 高サ 五尺九寸

横巾 五尺二寸五分

桐巾 九寸五分

横巾巾り 五尺二寸五分

桐板巾 九寸五分

巾 厚 四 分

桐板 三 分

障子 二寸五分

桐板 五尺七寸五分

一 日 高サ 五尺九寸

横巾 五尺二寸五分

桐巾 九寸五分

口板厚 四寸五分

天升り 七寸五分

障子紐子 四寸五分

一 日 高サ 五尺九寸

横巾 五尺二寸五分

桐板巾 九寸五分

巾 厚 四 分

一 日 高サ 五尺九寸五分

横巾 五尺二寸五分

柳板巾 七寸二分

天升と八寸二分
柳の身

障子ふくこみ 半

日よき 四半

一日 夕 七寸八分五分

横巾 別 半 夕サ 七寸八分五分

障子厚 一寸二分半 日中 臥寸五分

四寸一麻の角と 四角 日揚子角と板一面

先ふふ包と一なり 板と板と木の板と

ほろろの活熱の下より七寸八分五分障子なり

一日 夕 七寸八分五分 七寸五分

横巾 三尺六寸 深サ七尺八寸一分

柳巾 一尺二寸五分 柳板厚 四寸

障子を 五寸半 柳釣木 七寸五分

遠柳たノ柳長サ 臥尺五分 夕サ 地鴨板一尺五分

日 木ノ柳長サ 七寸八分五分 夕サ 日一尺九分

障子ふくこみ 七寸五分 横 二半 柳板と

コノホカナホコ
此余の好むものなり

柳 厚七寸五分 夕サ 七寸五分 夕サ 七寸五分

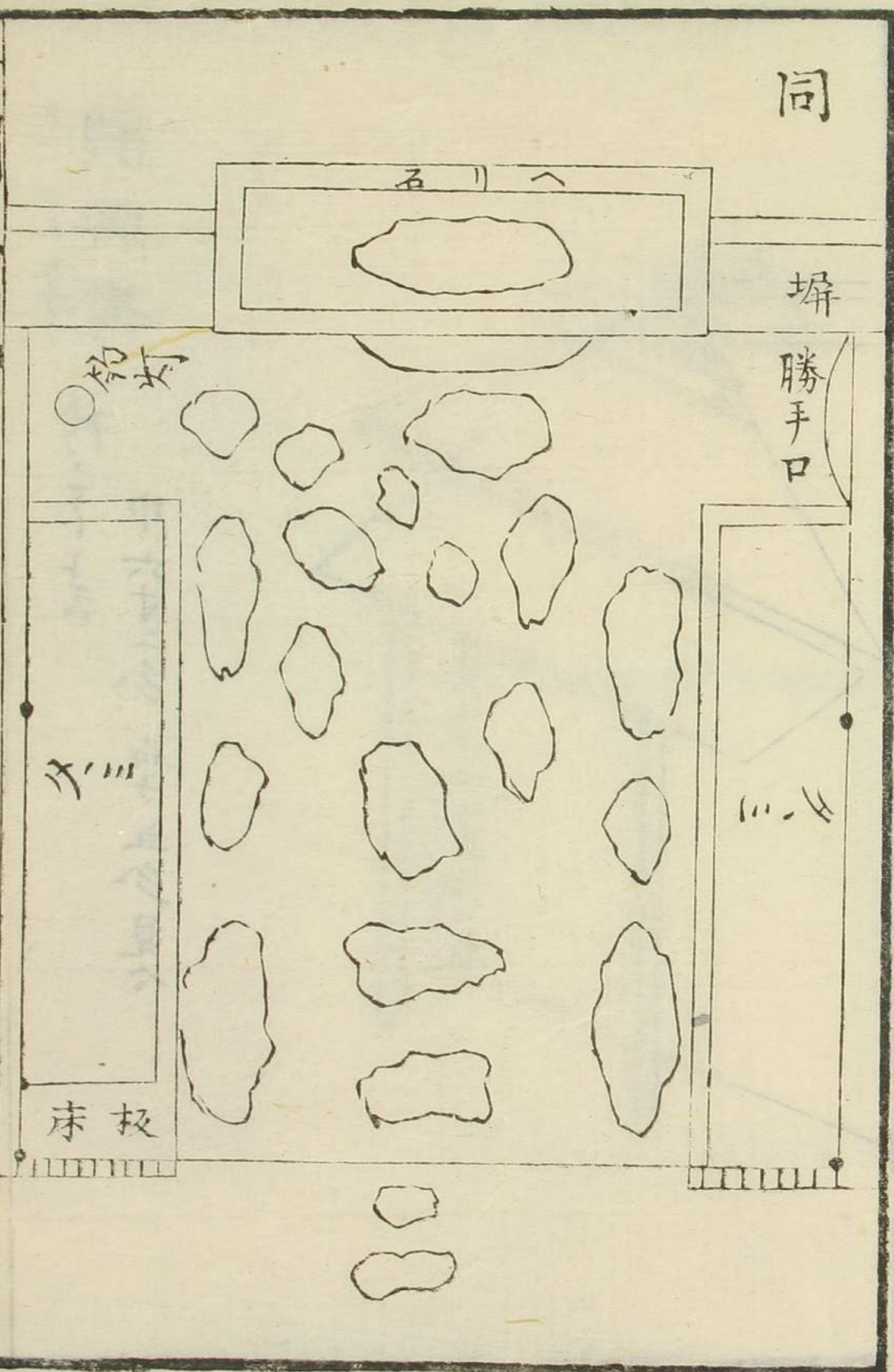
○露地腰掛 附 堂腰掛 中偈入

利休の時代ハ何方も一重露地なる往還の
 道路よりすく露地の大戸をひく内一入し
 大戸の陰に腰掛あり板縁生みの簀子おの
 兼相ぬく仕立なり露地草菴これこそ佗の
 茶湯かまふすこふ中宿の体いもどなり
 後古田織部正小堀遠忍君よりわろ万々
 自由よりやうと堂腰りかなとつもの出来

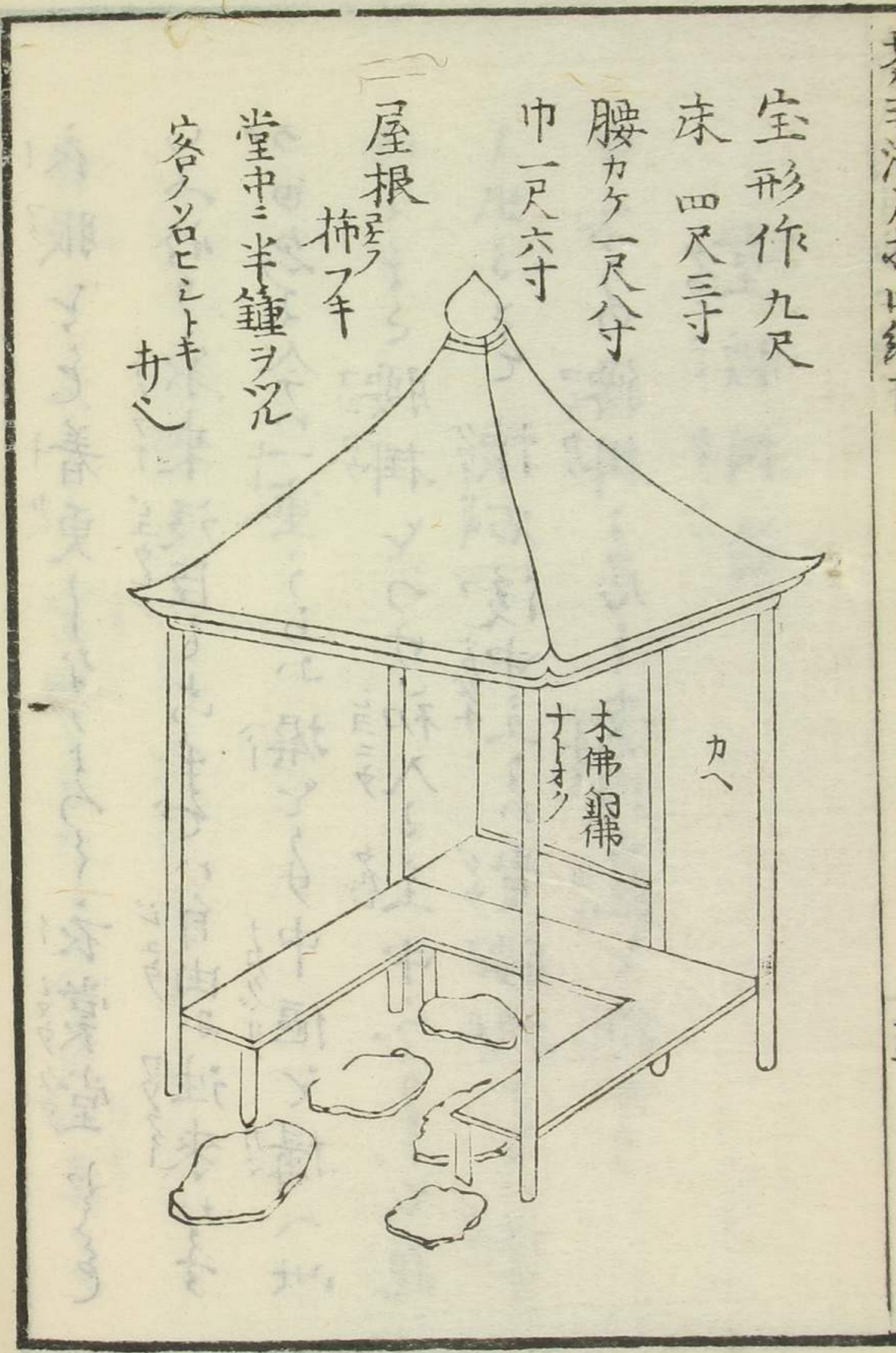
衣服とと着更しなるうろ衣裳堂いも
 りふゆり家來後臣も去手て自由小往來なり
 が田あふ今一重うら小堀より中偈と攝へ此
 内よりまゝ腰掛をつけ初入り主中よりまゝと迎
 り出るこそ懐石後中より堂腰掛まで往す
 中よりゆり腰掛居る案内の証と待なり

堂腰掛 旨

大正代明月抄四編



大正代明月抄四編



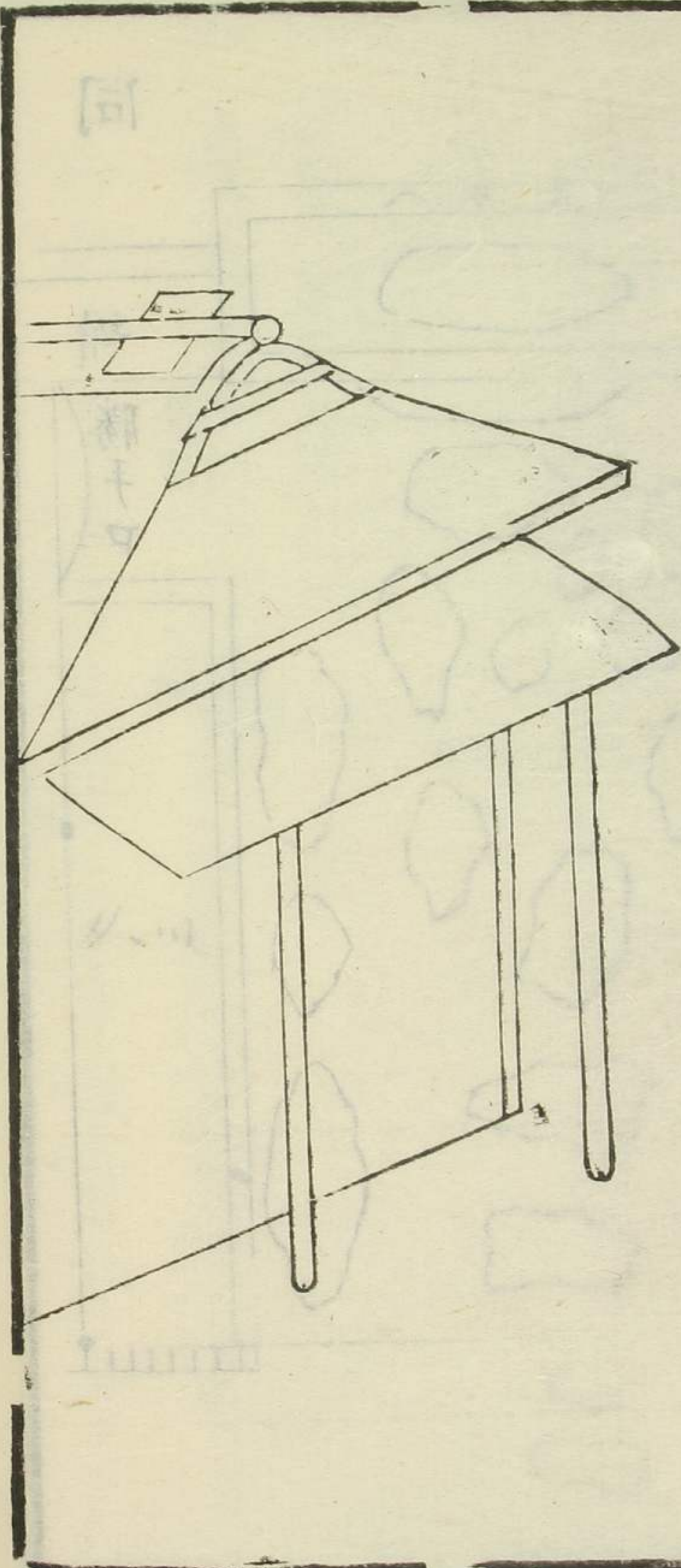
大正代明月抄四編

額腰掛

カク コシカケ

袴こゝと云

巾六寸二分 厚五分見合

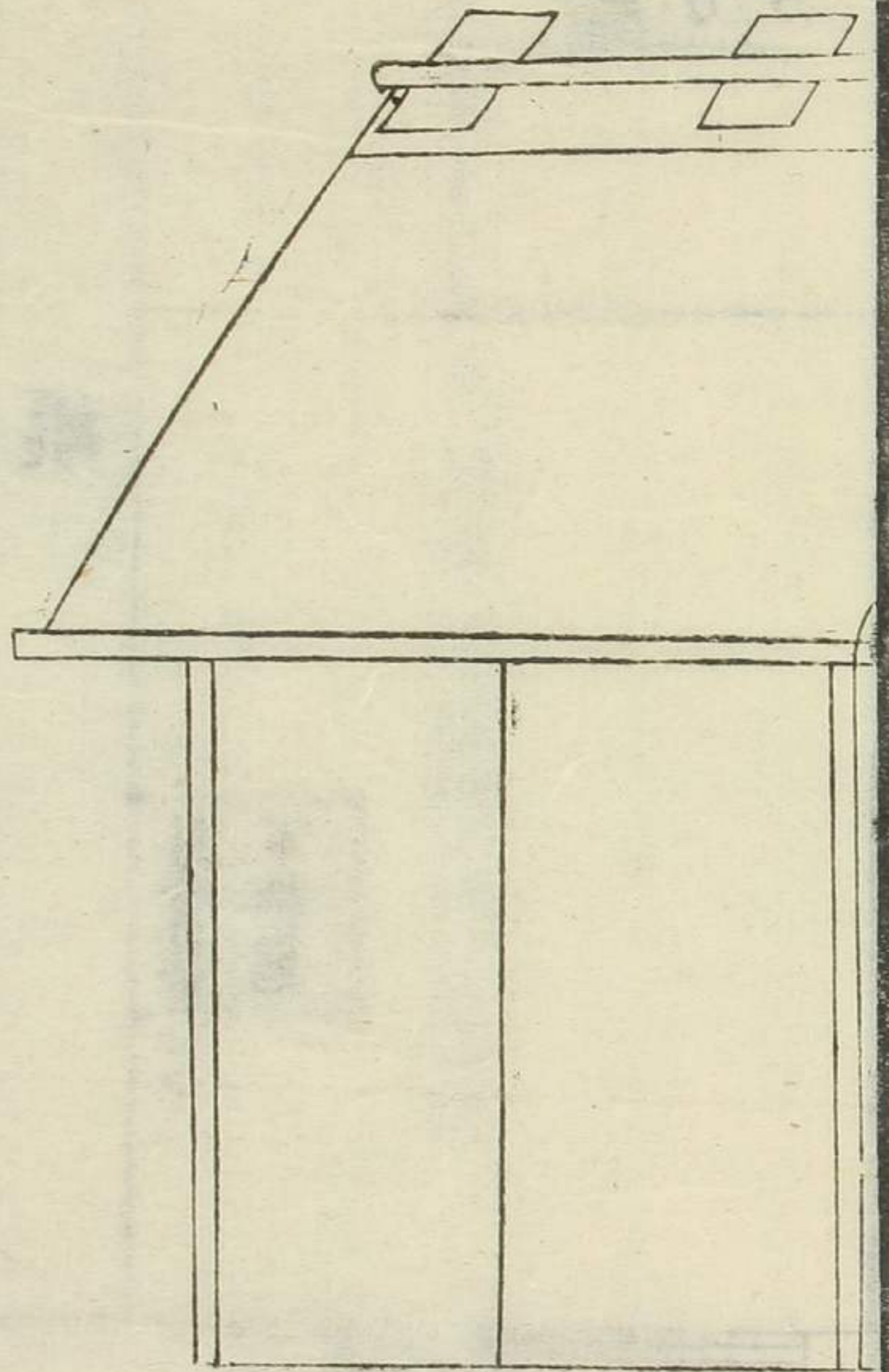


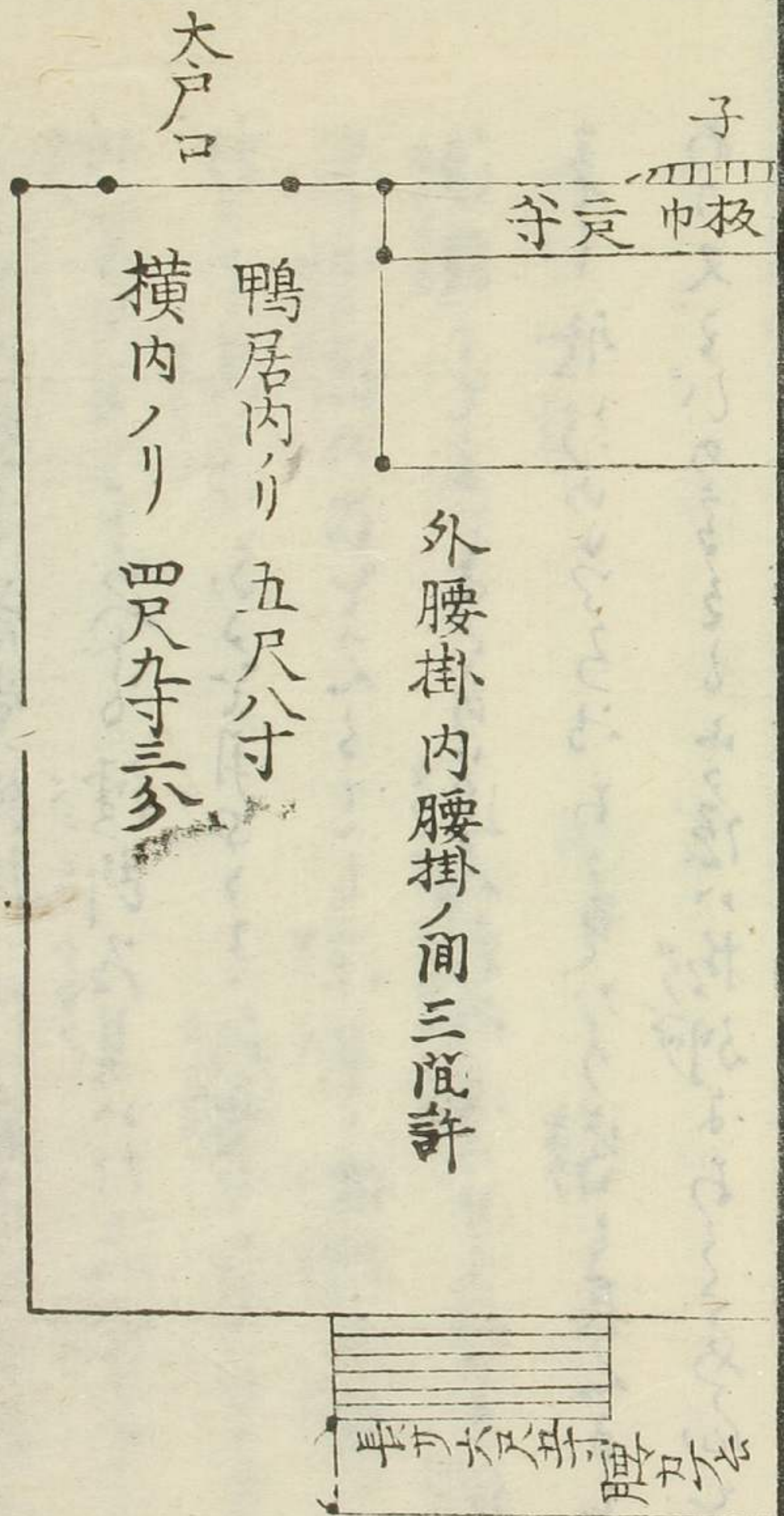
同

柱折ニテ高六テ九尺
破風貫出一尺二三寸

かろふ 七寸二三分
破風下 六尺三寸

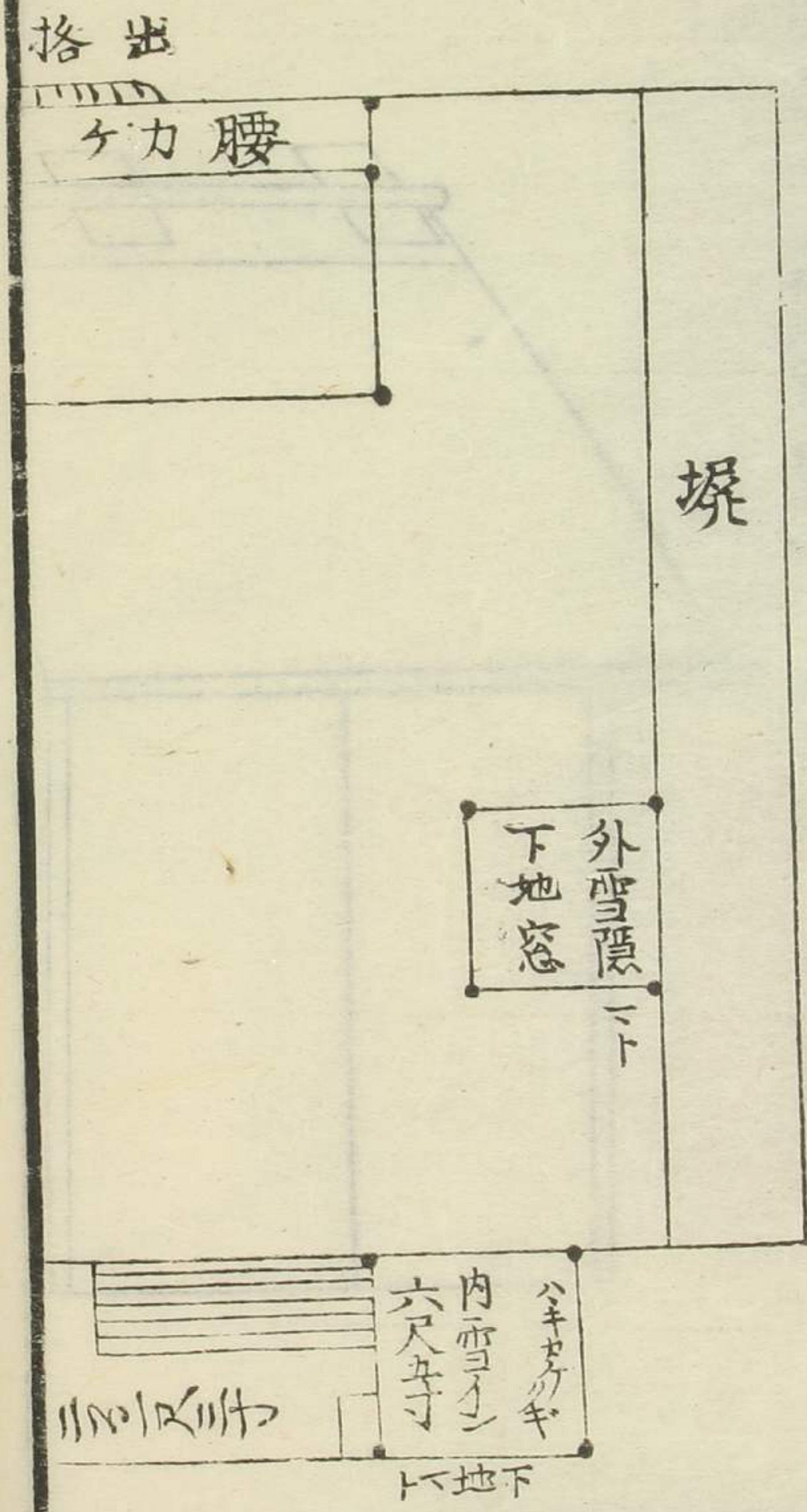
柱 九尺





外腰掛

堂腰掛ニモ外ニカケテモ
中々リノ分ヤウ日前ナリ



○雪隠之事

雪隠地^{ロダチ}雪隠^{セツイン}は禪林^{ゼンリン}の清規^{セイギ}一丈^{イチヤウ}の法式^{ホウシキ}のまじ
 らうのちり物^{スベ}と茶堂^{サダウ}腰掛^{ヨシカケ}ハ陀^ワ一扇^{イチセン}古^コ住^{ジュ}古^コ
 竹^{タケ}を^ヲ用^{ヨウ}は^スる^ルも^モ便所^{ベンシヨ}見^ミた^タと^ト便所^{ベンシヨ}を^ヲ用^{ヨウ}は^スる^ル
 所^{トコロ}は^ハ清浄^{セイジヨウ}なる^ルを^ヲ用^{ヨウ}は^スる^ル所^{トコロ}の^ノまじ
 客^{キヤク}室^{シツ}雪隠^{セツイン}の^ノ由^ユを^ヲえ^スる^ルも^モ禪林^{ゼンリン}の^ノ便所^{ベンシヨ}の^ノ役^{ヤク}を^ヲ
 浄^{ジヨウ}頭^{トウ}と^シて^シま^じり^らく^の道^{ミチ}人^ニ和^ワ尚^{シヨウ}道^{ダウ}の^ノせ^しる^ル御^ミ
 多^タ一^{イツ}後^ゴの^ノせ^しる^ル所^{トコロ}は^ハ免^メな^らず^も客^{キヤク}も^モ其^スの^ノち^チ
 あり又^{マタ}まじ^のの^ノまじ^りら^ずる^ル所^{トコロ}は^ハ後^ゴの^ノせ^しる^ル所^{トコロ}の^ノまじ^り
 あり又^{マタ}まじ^のの^ノまじ^りら^ずる^ル所^{トコロ}は^ハ後^ゴの^ノせ^しる^ル所^{トコロ}の^ノまじ^り

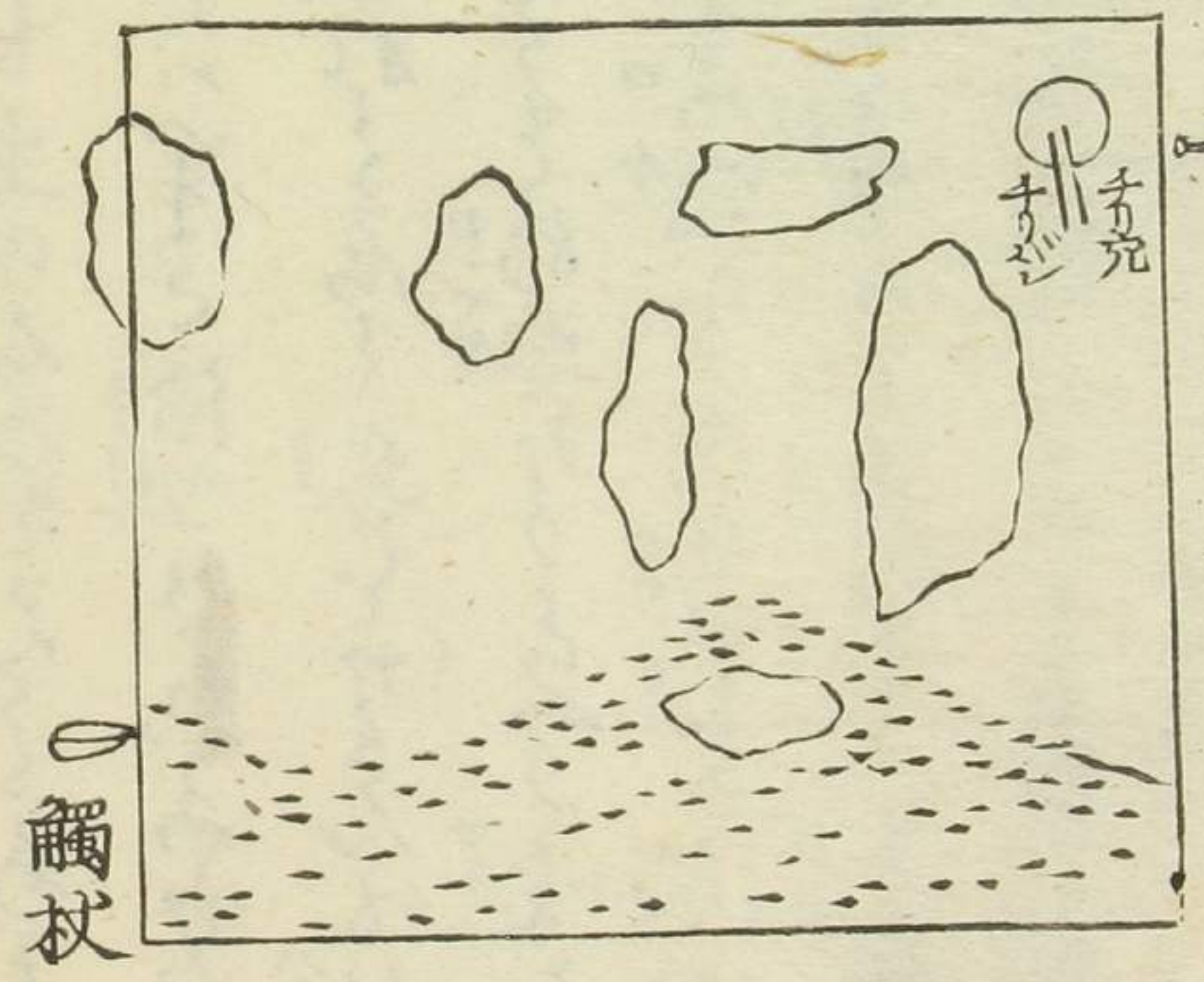
ろら^のち^チ客^{キヤク}も^モ主^{シュ}の^ノち^チを^ヲえ^スる^ル所^{トコロ}の^ノまじ^り
 利休^{リキウ}の^ノち^チを^ヲえ^スる^ル所^{トコロ}の^ノまじ^り治^チ世^セ乃^ノち^チを^ヲえ^スる^ル所^{トコロ}の^ノまじ^り
 者^{モノ}中^{ナカ}の^ノ信^{シン}よ^ヨか^カら^ラぬ^ル所^{トコロ}は^ハ害^{ガイ}を^ヲか^かさ^さん^んも^モ計^ケら^らず^も
 雪隠^{セツイン}の^ノち^チを^ヲえ^スる^ル所^{トコロ}の^ノまじ^りを^ヲ用^{ヨウ}は^スる^ル所^{トコロ}の^ノまじ^り
 する^ル所^{トコロ}の^ノまじ^りを^ヲ用^{ヨウ}は^スる^ル所^{トコロ}の^ノまじ^りを^ヲ用^{ヨウ}は^スる^ル所^{トコロ}の^ノまじ^り
 雪隠^{セツイン}の^ノち^チを^ヲえ^スる^ル所^{トコロ}の^ノまじ^りを^ヲ用^{ヨウ}は^スる^ル所^{トコロ}の^ノまじ^り
 雪隠^{セツイン}の^ノち^チを^ヲえ^スる^ル所^{トコロ}の^ノまじ^りを^ヲ用^{ヨウ}は^スる^ル所^{トコロ}の^ノまじ^り
 雪隠^{セツイン}の^ノち^チを^ヲえ^スる^ル所^{トコロ}の^ノまじ^りを^ヲ用^{ヨウ}は^スる^ル所^{トコロ}の^ノまじ^り
 雪隠^{セツイン}の^ノち^チを^ヲえ^スる^ル所^{トコロ}の^ノまじ^りを^ヲ用^{ヨウ}は^スる^ル所^{トコロ}の^ノまじ^り

茶室清規抄

三

砂雪隠の音

掃カカ 高六寸

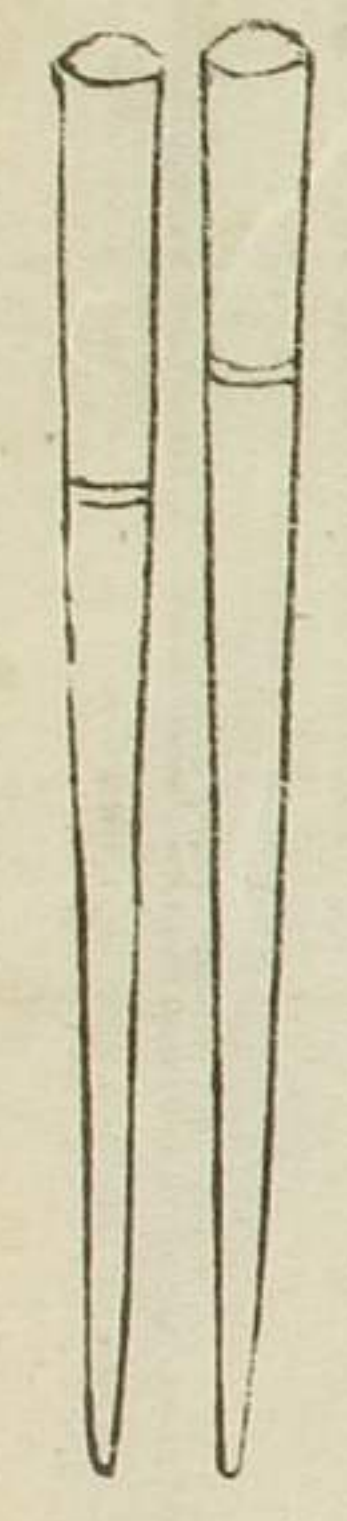


柱をサニ寸一分ニ寸も 桑丸を六尺三寸四方折下と
 又又九寸も 戸のササは天ニ寸中 外又外寸 戸口の
 ハリ折入くと上明の息ニ寸と明の伴場所とより
 窓長サと人ヒ寸中 外又三寸下窓とよりと人
 寸は他と窓一ツの太く丸くつる板と竹と管 窓板か
 らひ引かせたる 用と戸の板も小窓とより
 木の板やう 柱等のど
 比中腰掛の形より 土三寸下をこやると切
 一丈又三寸はら 一室の座をとも又七寸

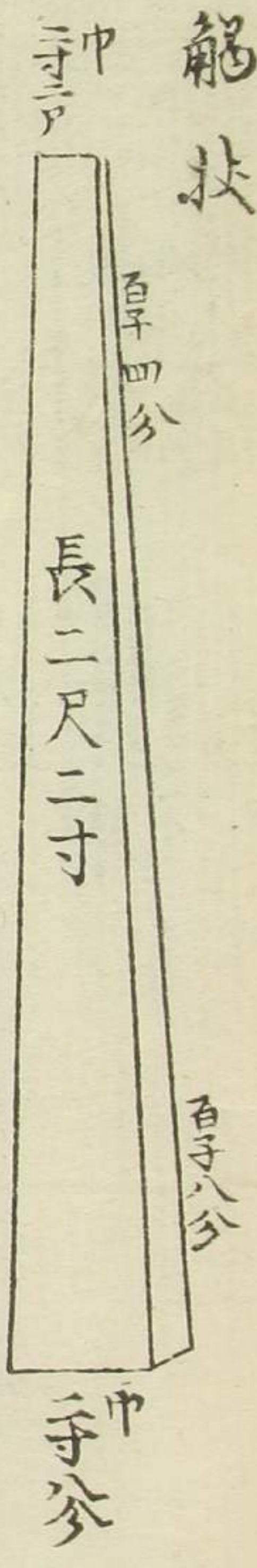
一 前石の針す文おちなることすまて
一 是掛る^{アト}位^{ヒナ}と云前も入合他すからも^{カハ}得^ハうぬ^ハ出^ルる
一 是^{ツヤ}すも巾ハサ^ニサ^ニサ^ニサ^ニとせ^一天^ハハ^サう^ニこと^ハサ^ニマ^ニ
他あ方へ^ハ移^ルま^サめ^ラう^トル
一 小用^ハ過^ハる^ハ移^ラう^トよ^ク大^ニサ^ニサ^ニサ^ニ一^他ハ^ハサ^ニサ^ニサ^ニ
一 裏^ハ過^ハる^ハ後^ハの^ハ方^ハハ^ササ^ニサ^ニサ^ニ小^ハ用^ハ過^ハる^ハ一^ササ^ニハ^ハ
低^ク前^ハス^ルの^ハ方^ハへ^シ行^カせ^ル也

一 束^ハ長^クス^ル人^ハサ^ニサ^ニサ^ニ一^ト止^ム巾^ハを^ハサ^ニ一^トサ^ニ
ト巾^ハサ^ニハ^ハ原^ハ上^ハの^ハ針^ハサ^ニト^ハハ^ニハ^ニハ^ニ一^他メ^ニト^ハ
末^ハと^ハ薄^クス^ルハ^ハハ^ハ板^ハ接^シ又^ハと^ハ針^ハサ^ニサ^ニサ^ニト^ハサ^ニ
サ^ハハ^ハハ^ハ

一 針^ハ丸^ク一^ト直^ト七^ト寸^ハ角^ハハ^ニ六^ト寸^ハ寸^ハ方^ハ深^ク九^ト寸^ハ
一 針^ハ長^クス^ル人^ハ針^ハ寸^ハ七^ト寸^ハ針^ハ末^ハ細^ク丸^ク
一 針^ハ薄^クス^ルハ^ハハ^ハ板^ハ接^シ又^ハと^ハ針^ハサ^ニサ^ニサ^ニト^ハサ^ニ



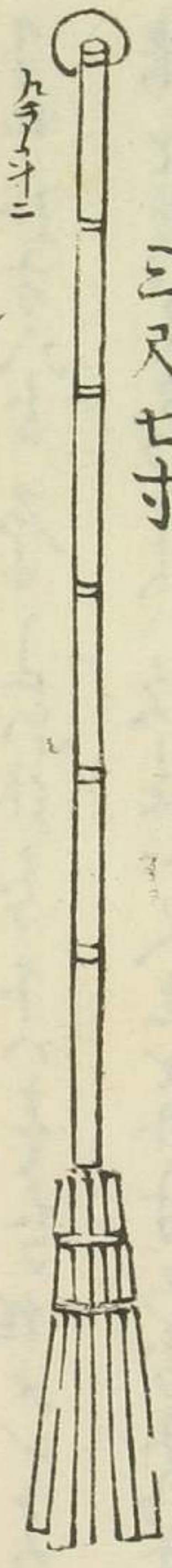
一 觸杖



手後の月山形のかさき、海の上は觸杖とてなる

一 竿 一丈一尺 木目りのさか

三尺七寸



五寸二
細うた

○ 宝殿造 雲隠す又

おろしサ 杉板の上端まで 五尺七寸

板をサ 板守八分 板をさ 板守八分

板り 六尺六寸 梁り 六尺三寸

中梁 三寸 棟ろく一本を足さす

棟板をサ 一尺七寸 柱 柱のく横

角を木をサ 一尺七寸 平梁木をサ 一寸六分

木森下 六寸一ふつ あらううすめを木森を七を

杉の出板の中角より度木森のかつと七寸

廣木森巾一寸七分

同厚

七分

高麗白芍薬 鴨居のち端を七寸五分 又五分五分

同横寸 助天守 鴨居の二寸五分 又二寸五分

方立を 二寸五分 又五分五分

戸槌を 八分 同厚 七分

同えのとより一寸五分 俵えの上端を

よとえん望年 口下ハと五分五分

戸鉤をうおふ五分五分 又五分五分

戸もサ 俵え五分五分 又五分五分

完の廣さ大板を又前後二寸の端りのふあふ

くしりやう俵一

○同 行 庇 造り

板をサ 棟の旁一寸五分 又厚 同板の板一寸五分

板板をサ 五寸五分

意木廣木森も 二寸五分 棟の板の旁のふあふ

一尋う 廣木森を一寸五分 同厚七分

その板の出 八分 大板を一寸五分 俵え五分五分

その板の長がり 棟のよとえん 俵え五分五分 又五分五分

新の土の折の中角より度本并糸面まで七寸五分
度本より度本糸のつらゝをすさから

あづらのさるり年 新言 地よりぬえん寺 さるり年

新の古こと大和さきのつらゝ ぬえん寺

物のあそびとすぬらう二寸五分まで

カキ 菅さきよかたひいさきいさき又七寸又九寸と

大和さきのつらゝ 守ぬらう 守分と

口くらゝ 地よりぬえん寺 地よりぬえん寺

口横中 ぬえん寺とすらのち廿一尺八寸

〇とすらうすやう 箇の上 カキ 度かておのさきも新形の上も

一面と 口のさきサ大和さきいぬえん四寸 口横中 ぬえん寺

とすらう 野店のおかやう 口横中

野店のおき 七寸 口横中 三寸 口横中 二寸 口横中 一寸

口横中 九寸 口横中 七寸 上のさき 二寸 口のさき 一尺

下のさき 二寸 口のさき 一尺 口のさき 七寸 口のさき

さき 口のさき

口のさき 七寸 口のさき 一尺 口のさき 二寸 口のさき

大和さきのつらゝ 四寸 口のさき 四寸 口のさき 四寸

戸の地 下を産するのうらう一す又アあけく産程
中柄の^他 ^{又ハコソ} ^{コソ} 中柄をサ一すめら

東^ツ 鴨居の旁つららとも丸本を産るのよ東の扱
とを計す計ら 口厚一寸四寸 ^{七ヤ} 子堂を六寸入

西よりくま天計角のやうに長く挿る程
さう半もあり ちと三寸さう 扱りの尺を

望り 六尺三寸

○ 日^{ハキ} 希^{ハキ} 本^{ハキ} 子^{ハキ} 行^{ハキ} 行^{ハキ} 長さ九尺 八寸五分

地^{ハキ} 希^{ハキ} 糸^{ハキ} まで 尺^{ハキ} 計^{ハキ} 又 四^{ハキ} 尺^{ハキ} 五分^{ハキ} 五分^{ハキ}

日^{マド} 意^{マド} の 日^{マド} 天

下^{シクナ} 地^{シクナ} 意^{シクナ} 地^{シクナ} より 紗^{シクナ} 尺^{シクナ} 三^{シクナ} 寸^{シクナ} 五分^{シクナ} 又 天^{シクナ} 尺^{シクナ} 内^{シクナ} の 一^{シクナ} 尺^{シクナ} 寸^{シクナ}

又 一^{シクナ} 尺^{シクナ} 三^{シクナ} 寸^{シクナ} 五分^{シクナ} 日^{シクナ} 換^{シクナ} 口^{シクナ} 口^{シクナ} 紗^{シクナ} 尺^{シクナ} 三^{シクナ} 寸^{シクナ} 五分^{シクナ} 又 天^{シクナ} 尺^{シクナ} 寸^{シクナ} 五分^{シクナ}

日^{シクナ} 地^{シクナ} より 紗^{シクナ} 尺^{シクナ} 三^{シクナ} 寸^{シクナ} 五分^{シクナ} 天^{シクナ} 尺^{シクナ} 内^{シクナ} 紗^{シクナ} 尺^{シクナ} 三^{シクナ} 寸^{シクナ} 八^{シクナ} 分^{シクナ}

日^{シクナ} 換^{シクナ} 内^{シクナ} 一^{シクナ} 尺^{シクナ} 三^{シクナ} 寸^{シクナ} 五分^{シクナ}

け^{シクナ} 糸^{シクナ} 三^{シクナ} 寸^{シクナ} 五分^{シクナ} 括^{シクナ} 子^{シクナ} 糸^{シクナ} 竹^{シクナ} の 扱^{シクナ} 四^{シクナ} 寸^{シクナ}

け^{シクナ} 糸^{シクナ} 三^{シクナ} 寸^{シクナ} 五分^{シクナ} 原^{シクナ} の 月^{シクナ} 子^{シクナ} 砂^{シクナ} の り^{シクナ} 方^{シクナ} 能^{シクナ} 枝^{シクナ} の 産^{シクナ} 三^{シクナ} 寸^{シクナ} 五分^{シクナ} の 糸

け^{シクナ} 糸^{シクナ} 三^{シクナ} 寸^{シクナ} 五分^{シクナ} 編^{シクナ} り^{シクナ} 三^{シクナ} 寸^{シクナ} 五分^{シクナ}

こと

生實の底^{ヒサト}もくもくすもすもあつくと平なる大なる
 あくあ^{オホ}多^{オホ}く今くお^{オホ}子^{オホ}橋^{オホ}とてい^{ヒル}う^{フク}う^{ヒル}う^{フク}
 お^{オホ}及^{オホ}す^{オホ}う^{オホ}噴^{オホ}え^{オホ}ま^{オホ}夜^{オホ}ま^{オホ}の^{オホ}ま^{オホ}の^{オホ}ま^{オホ}ま^{オホ}ま^{オホ}ま^{オホ}
 噴^{オホ}を^{オホ}夜^{オホ}ま^{オホ}ま^{オホ}ま^{オホ}ま^{オホ}ま^{オホ}ま^{オホ}ま^{オホ}ま^{オホ}ま^{オホ}ま^{オホ}
 本^{オホ}社^{オホ}本^{オホ}な^{オホ}ま^{オホ}ま^{オホ}あ^{オホ}つ^{オホ}る^{オホ}ま^{オホ}あ^{オホ}つ^{オホ}る^{オホ}ま^{オホ}あ^{オホ}つ^{オホ}る^{オホ}
 併^{オホ}く^{オホ}右^{オホ}織^{オホ}へ^{オホ}う^{オホ}う^{オホ}う^{オホ}う^{オホ}う^{オホ}う^{オホ}う^{オホ}う^{オホ}う^{オホ}う^{オホ}

〇 燈^{タカ} 附^{ロウ} 石^{イシ} 燈^{タカ} 附^{ロウ} 本^{ホン} 化^カ 燈^{タカ} 附^{ロウ}
 石^{イシ} 燈^{タカ} 附^{ロウ} 本^{ホン} 化^カ 燈^{タカ} 附^{ロウ}
 石^{イシ} 燈^{タカ} 附^{ロウ} 本^{ホン} 化^カ 燈^{タカ} 附^{ロウ}
 石^{イシ} 燈^{タカ} 附^{ロウ} 本^{ホン} 化^カ 燈^{タカ} 附^{ロウ}

〇 年^{ネン} 水^{スイ} 抄^{セウ}
 年^{ネン} 水^{スイ} 抄^{セウ}
 年^{ネン} 水^{スイ} 抄^{セウ}
 年^{ネン} 水^{スイ} 抄^{セウ}

〇 年^{ネン} 水^{スイ} 抄^{セウ}
 年^{ネン} 水^{スイ} 抄^{セウ}
 年^{ネン} 水^{スイ} 抄^{セウ}
 年^{ネン} 水^{スイ} 抄^{セウ}

〇 年^{ネン} 水^{スイ} 抄^{セウ}
 年^{ネン} 水^{スイ} 抄^{セウ}
 年^{ネン} 水^{スイ} 抄^{セウ}
 年^{ネン} 水^{スイ} 抄^{セウ}

ても又作てくんきどくち常やらしくしもさんくんく
平一かく

但し常乃寸尺く編く已上記しり

茶式湖月抄四編卷下尾

